

英語1 11

11582

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 12

11583

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 13

11594

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 14

11595

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 15

11590

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 16

11584

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 17

11596

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語 1 18

11597

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 20

11588

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 21

11585

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 22

11589

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 23

11586

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 24

11593

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 25

11598

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 26

11591

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 27

11592

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 28

11722

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 29

11723

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 30

11724

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 31

11725

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 32

11726

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 33

11728

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 34

11732

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 35

11719

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods
成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 37

11727

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 38

11730

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語1 39

11731

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 40

11718

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 41

11720

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べるができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語1 42

11721

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテンツ・ベース・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る; 事実に関する情報をつかむ; 文脈から意味を推測する; ノートを取るなど)。
- グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる; 他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる; ディスカッションをリードできる; ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。
- 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる; 例を示しながら要点を説明できる; 論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。
* 日常点評価 3分の2以上の出席。その他は初回の講義で指示します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 11

11662

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 12

11670

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 13

11668

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。
学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 14

11661

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 15

11665

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 17

11664

担当者名 / Instructor TKATSCHOW DWIGHT A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

担当者名 / Instructor PARRISH MICHAEL M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 19

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

英語2 20

11660

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 21

11663

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 22

11659

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 23

11667

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 24

11666

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。
学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 25

11671

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 26

11672

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 27

11673

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 28

11674

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 29

11809

担当者名 / Instructor BARCHUS GALE LESLIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 30

11808

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 31

11807

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 32

11796

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 33

11803

担当者名 / Instructor DOWLING ANDREW G

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 34

11802

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 35

11797

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 36

11804

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 37

11806

担当者名 / Instructor SINGER JANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。
学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 38

11805

担当者名 / Instructor ROBERT JOHN McCLUNG

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストリーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストリーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 39

11800

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 40

11798

担当者名 / Instructor RAMIREZ REYMIE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーストローミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーストローミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語2 41

11801

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語2 42

11799

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。

ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成・出版する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

英語3 1A

10673

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1B

10674

担当者名 / Instructor 鈴木 盛子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1C

10675

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1D

10676

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1E

10677

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1F

10678

担当者名 / Instructor VIGERS PIER NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1G

10679

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1H

10680

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 11

10681

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1J

10682

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1K

10683

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1L

10843

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1M

10844

担当者名 / Instructor 鈴木 盛子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1N

10845

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 10

10846

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1P

10847

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1Q

10848

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1R

10849

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1S

10850

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1T

10851

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1U

10852

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1V

10853

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語3 1W

10869

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills (英語重視コース)

この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング(skimming)、スキヤニング(scanning)などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- スキミング(skimming): 英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキヤニング(scanning): 英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる(話題展開を示す語句を認識できる)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

クラスごとに指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語4 1A

10774

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1B

10775

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1C

10776

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1D

10777

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1E

10778

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1F

10779

担当者名 / Instructor VIGERS PIERIS NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1G

10780

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1H

10781

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 11

10782

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
Sep. 30	Orientation: IGAKUKAN Room 37	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Oct. 7	Chapter 1: Blood Types	
Oct. 14	Chapter 2: Psychics	
Oct. 21	Chapter 3: Feng Shui	
Oct. 28	Chapter 4: Snake Oil	
Nov. 4	Chapter 6: Advertising: A Diamond is Forever	
Nov. 11	Chapter 7: Behind the Scenes	
Nov. 18	Mid-Term Exam	Classroom: 清心553 (20% of your total grade)
Nov. 25	Chapter 8: The Myth of the Noble Savage	
Dec. 2	Chapter 9: Illness and the Mind	
Dec. 9	Chapter 10: Risk	
Dec. 16	Chapter 11: Race and Intelligence	
Dec. 23	Group Presentation	(national holiday, but we have class)
Jan. 6	REVIEW of all chapters	Critical Thinking and Skepticism
Jan. 13	In-Class Verification Exam for Final Verification and post exam explanation lecture	***Classroom: 清心553*** (30% of your final grade)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

Please refer to the syllabus distributed during the first week of class for details

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Please refer to the syllabus you have received in class during the first week of class for details

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Fact, Fable or Fiction	Paul Stapleton / MACMILLAN / 4-7773-6061-x /
レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
------------	--

英語の構文150

／／／

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語4 1J

10783

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1K

10784

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1L

10935

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1M

10936

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1N

10937

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 10

10938

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1P

10939

担当者名 / Instructor ランザ ー美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1Q

10940

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1R

10941

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1S

10942

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1T

10943

担当者名 / Instructor VIGERS PIERS NIGEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1U

10944

担当者名 / Instructor 山崎 清水

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1V

10945

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語4 1W

10950

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

<対象: 英語重視コース> Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域(たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど)に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル(批評的)に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文(あるいは展開文)の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

教科書 / Textbooks

レベル別クラスごとに指定されているテキストを各自確認して生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2008年度「外国語ハンドブック」を参照

英語5 1A

10688

担当者名 / Instructor 松本 加奈子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1B

10689

担当者名 / Instructor 諏訪 共香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1C

10690

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1D

10691

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1E

10692

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1F

10693

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1G

10694

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1H

10695

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 11

10696

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1J

10697

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1K

10698

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1L

10858

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1M

10859

担当者名 / Instructor 諏訪 共香

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1N

10860

担当者名 / Instructor 松本 加奈子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 10

10861

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1P

10862

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1Q

10863

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1R

10864

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1S

10865

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1T

10866

担当者名 / Instructor DOMJANCIC NICHOLAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1U

10867

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的な特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語5 1V

10868

担当者名 / Instructor VARELA WYNNPAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語

English 5 is a four-skills course with an emphasis on English in the media. At each level the course should combine discussion with reading skills work using print media with viewing/listening skills work using broadcast media. Not only news from abroad but also news in Japan will be used.

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1A

12393

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1B

12465

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1C

12463

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1D

12462

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1E

12461

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1F

12467

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1G

12466

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1H

12468

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 11

12469

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1J

12470

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1K

12394

担当者名 / Instructor BROOKS GAVIN JOHN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1L

12396

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1M

12395

担当者名 / Instructor 五十川 敬子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1N

12397

担当者名 / Instructor 小林 香保里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 10

12391

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1P

12392

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1Q

12387

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1R

12464

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1S

12388

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集し、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1T

12389

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベースド教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1U

12390

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語6 1V

12404

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Themed Study and Research: This is a content-based course which draws upon all students' language skills as they work with study materials and carry out research projects related to a particular topic in English. Students will present their research findings in the form of both written assignments and oral presentations. Course content and course requirements will need to be adjusted to class level and will vary according to the instructor.

到達目標 / Attainment Objectives

テーマ別のコンテンツ・ベース教材を使用し4技能を統一しながら英語を習得する。また、関心のあるトピックを選び、英語で調べ情報収集したうえで、口頭と文章で発信する方法を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

 以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

産業社会学部 2007年度「外国語ハンドブック」を参照

その他 / Others

英語音声演習1(単位回復) Z1

10609

担当者名 / Instructor 飯田 未希

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行っていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習1(単位回復) Z2

12824

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行っていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2(単位回復) Z1

10636

担当者名 / Instructor 飯田 未希

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行っていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2(単位回復) Z2

12833

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習

この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)、2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習+検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習+検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使つての聞き取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC <http://abcnews.go.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>
 BBC World Service <http://www.bbc.co.uk/worldservice/>
 NHK <http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html>
 Randall's ESL Cyber Listening Lab <http://www.esl-lab.com/index.htm>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語総合講義(単位回復) Z1

11810

担当者名 / Instructor 朴 真理子、吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で単位未修得の科目が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となることをめざす。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	英語の学習/SRA導入	
第2講～第5講	リーディング/Power Builder導入	
第6講～第7講	英語圏の社会と文化/Power Builder	
第8講	中間まとめテストと講評/Power Builder	
第9講	英語の音声/Power Builder	
第10講～第11講	ライティング/Power Builder	
第12講～第14講	英語の諸相/Power Builder	
第15講	最終まとめテストと講評/SRAテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

指示にもとづき、教科書の該当部分を予習してくること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	読解実習の取り組み、小テスト、まとめテストなどが含まれます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報【第5版】	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会/(財)九州大学出版会/978-4-87378-939-2/
英語の辞書	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語総合講義(単位回復) Z2

12775

担当者名 / Instructor 朴 真理子、吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で単位未修得の科目が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となることをめざす。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	英語の学習 / SRA導入	
第2講～第5講	リーディング / Power Builder導入	
第6講～第7講	英語圏の社会と文化 / Power Builder	
第8講	中間まとめテストと講評 / Power Builder	
第9講	英語の音声 / Power Builder	
第10講～第11講	ライティング / Power Builder	
第12講～第14講	英語の諸相 / Power Builder	
第15講	最終まとめテストと講評 / SRAテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

指示にもとづき、教科書の該当部分を予習してくること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	読解実習の取り組み、小テスト、まとめテストなどが含まれます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報【第5版】	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会 / (財)九州大学出版会 / 978-4-87378-939-2 /
英語の辞書	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語総合講義(単位回復) Z3

11817

担当者名 / Instructor 朴 真理子、吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で単位未修得の科目が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となることをめざす。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	英語の学習/SRA導入	
第2講～第5講	リーディング/Power Builder導入	
第6講～第7講	英語圏の社会と文化/Power Builder	
第8講	中間まとめテストと講評/Power Builder	
第9講	英語の音声/Power Builder	
第10講～第11講	ライティング/Power Builder	
第12講～第14講	英語の諸相/Power Builder	
第15講	最終まとめテストと講評/SRAテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

指示にもとづき、教科書の該当部分を予習してくること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	読解実習の取り組み、小テスト、まとめテストなどが含まれます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報【第5版】	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会/(財)九州大学出版会/978-4-87378-939-2/
英語の辞書	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語総合講義(単位回復) Z4

12801

担当者名 / Instructor 朴 真理子、吉岡 公美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で単位未修得の科目が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となることをめざす。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1講	英語の学習 / SRA導入	
第2講～第5講	リーディング / Power Builder導入	
第6講～第7講	英語圏の社会と文化 / Power Builder	
第8講	中間まとめテストと講評 / Power Builder	
第9講	英語の音声 / Power Builder	
第10講～第11講	ライティング / Power Builder	
第12講～第14講	英語の諸相 / Power Builder	
第15講	最終まとめテストと講評 / SRAテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

指示にもとづき、教科書の該当部分を予習してくる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	読解実習の取り組み、小テスト、まとめテストなどが含まれます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報【第5版】	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会 / (財)九州大学出版会 / 978-4-87378-939-2 /
英語の辞書	

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義(単位回復) Z1

10608

担当者名 / Instructor 竹間 優美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ニューヨーク・タイムズでベストセラーになった、日本の近代史を扱ったINVENTING JAPANの満州事変から南京虐殺事件に至る歴史を読む。

到達目標 / Attainment Objectives

- ①日本の戦争時代の歴史への理解を深める。
- ②原書を正確に読めるようにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション Chapter 4: Oh, Our Manchuria	
2	p.87-88	
3	p.89-90	
4	p.91-92	
5	p.93-94	
6	p.95-96	
7	p.97-98	
8	p.99-100	
9	p.101-102	
10	p.103-104	
11	p.105-106	
12	p.107-108	
13	p.109-110	
14	p.111-	
15	試験とまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	出席や授業への予習

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プリント配布	///

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

wikipedia

その他 / Others

英語特別講義(単位回復) Z2

11826

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study basic English by reading through and shadowing easy passages on various kinds of Asian youth culture.

到達目標 / Attainment Objectives

- To get used to reading & shadowing
- To get some useful information on reading skills & phonetic symbols/terms

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	TV Dramas	Korea
2	Traffic	India
3	Hello Kitty	Singapore
4	Wedding	Pakistan
5	Blood Types	Korea
6	Movies	India
7	Language	China
8	Elephant Docor	Indonesia
9	Medical Tourism	the Philippines
10	Watching TV	Some Asian Countries
11	Women	Mongol
12	Food	Taiwan
13	Amulets	Thai
14	Beatiful Women	Vietnam
15	The Fianl Exam.	Review.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	70 %	Paper Test in the 15th (last) lecture .
平常点(日常的)	30 %	Attendance, Hard working, Contribution to class activities, "Short Writing on the Topic" in class.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hello, Asia!	Diane Hawley Nagamoto, Robert J Fouser, Akira Tachino / 南雲堂 / With CD.

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義(単位回復) Z3

10635

担当者名 / Instructor 竹間 優美子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

日本文化論の古典、CHRYSANTHEMUM AND SWORDの一章を読む。現代の日本人と比較したり、西洋文化との比較で日本人の文化・価値観を考える。

到達目標 / Attainment Objectives

- ①日本文化への関心 西洋文化との比較のなかで深める。また、日本人の変化を考察する。
- ②原書を辞書を引きながら読むことに慣れる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション Chapter 9:the Circle of Human Feelings and Chapter 10:The Dilemma of Virtue	
2	p.177-179	
3	p.181-183	
4	p.184-186	
5	p.187-188	
6	p.189-190	
7	p.191-192	
8	p.193-194	
9	p.195-196	
10	p.197-198	
11	p.199-200	
12	p.201-202	
13	p.203-204	
14	p.205-206	
15	試験とまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	0 %	試験
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	出席と予習

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プリント配布	///

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語特別講義(単位回復) Z4

11816

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We have two parts in class.

- 1) We will study some basic business English.
- 2) We will watch an American movie and discuss some social problems.

到達目標 / Attainment Objectives

To get used to easy business English

To follow an American movie story and think over the message in it

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Numbers	How to say
2	Listening to English News	Idioms
3	Reading English News-1	5W1H
4	Reading English News-2	News English
5	Office	Divisions,
6	Call	Basic Expressions
7	Business Dialog-1	Antonyms
8	Business Dialog-2	Useful Expressions
9	Business Writing-1	Documents
10	Business Writing-2	Letters
11	Business Writing-3	E-mails
12	Business Writing-4	On Meeting
13	Daily Conversation	Prefix, Suffix
14	Vocabulary Building	Synonyms, The part of speech
15	The Final Exam.	Review.

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	70 %	Paper Test in the 15th(last) lecture.
平常点(日常的)	30 %	Attendance, Hard working, Contribution to class activities, "Short Writing on the Movie" in class.

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Media English for the Businessperson	Naomi Koike, Seishi Sato / 南雲堂 / with CD

参考書 / Reference Books

The Movie: Driving Miss Daisy

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

英語読解演習1(単位回復) Z1

11811

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
7	ソフトによる学習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
14	ソフトによる学習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、AVソフトを使用した読解、聞き取りの総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習1(単位回復) Z2

12776

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
7	ソフトによる学習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
14	ソフトによる学習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、AVソフトを使用した読解、聞き取りの総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復) Z1

11818

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
7	ソフトによる学習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
14	ソフトによる学習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、AVソフトを使用した読解、聞き取りの総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復) Z2

12802

担当者名 / Instructor 平尾 日出夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
7	ソフトによる学習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
14	ソフトによる学習+検証テスト2	英文読解
15	総合練習	英文読解、AVソフトを使用した読解、聞き取りの総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2(単位回復) Z3

17190

担当者名 / Instructor 西山 淳子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成

この講座では、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在すること直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
7	ソフトによる学習(復習)+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日ウェブで公開されている記事	英文読解
14	ソフトによる学習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、AVソフトを使用した読解、聞き取りの総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていく必要があります。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表なども評価に加えられる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes <http://www.japantimes.co.jp/>
 Asahi <http://www.asahi.com/>
 Daily Yomiuri <http://www.yomiuri.co.jp/dy/>
 Mainich Daily News <http://mdn.mainichi.jp/>
 CNN <http://www.cnn.com/>
 USA Today <http://www.usatoday.com/>
 VOA <http://www.voanews.com/>

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

スペイン語・応用I 2A

12024

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones. (Unidad 1)	Saludos, presentaciones, vocabulario sobre actividades diarias, vocabulario sobre aficiones, gustar.
2	Explicar las vacaciones. (Unidad 1)	Vocabulario sobre las vacaciones, pretérito indefinido.
3	Conocer la vida de nuestros compañeros. (Unidad 2)	Vocabulario sobre acontecimientos vitales, querer, pretérito indefinido, pretérito imperfecto, interrogativos.
4	Hablar sobre momentos importantes de nuestra vida y de la historia. (Unidad 2) *	Fechas y números, vocabulario sobre acontecimientos históricos, pretérito indefinido, pretérito imperfecto.
5	Describir personas y experiencias. (Unidad 3)	Vocabulario sobre la personalidad, vocabulario sobre la familia, vocabulario para valorar hechos, ser/estar+adjetivo, pretérito perfecto.
6	Hablar de costumbres sociales y de obligaciones. (Unidad 3)	Vocabulario sobre costumbres y normas sociales, hay que, (no) se puede.
7	Hablar del futuro y realizar predicciones. (Unidad 4)	Vocabulario sobre la vivienda y la decoración, vocabulario sobre acontecimientos vitales e históricos, me gustaría+infinitivo, futuro imperfecto, condicionales.
8	Hablar sobre regalos. (Unidad 4)	Vocabulario sobre regalos, pronombres de objeto directo e indirecto.
9	Permisos y favores.*	Puedo+infinitivo, puedes+infinitivo, imperativo para dar permiso, lo siento, es que...(explicación del motivo para denegar permiso).
10	Hablar de hábitos y circunstancias en el pasado. (Unidad 5)	Pretérito imperfecto.
11	Comparar. (Unidad 5)	Comparativos y superlativos, instrucciones
12	Anunciarse, comprar y vender. (Unidad 6)	Vocabulario y expresiones para anuncios, diálogos por teléfono, algo/nada, alguien/nadie, algún/ningún
13	Dar instrucciones para cocinar. (Unidad 6)	Vocabulario de cocina, impersonales con se.
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Español en marcha 2. Libro del alumno	Francisca Castro Viúdez, Ignacio Rodero Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用I 2B

10158

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones. (Unidad 1)	Saludos, presentaciones, vocabulario sobre actividades diarias, vocabulario sobre aficiones, gustar.
2	Explicar las vacaciones. (Unidad 1)	Vocabulario sobre las vacaciones, pretérito indefinido.
3	Conocer la vida de nuestros compañeros. (Unidad 2)	Vocabulario sobre acontecimientos vitales, querer, pretérito indefinido, pretérito imperfecto, interrogativos.
4	Hablar sobre momentos importantes de nuestra vida y de la historia. (Unidad 2) *	Fechas y números, vocabulario sobre acontecimientos históricos, pretérito indefinido, pretérito imperfecto.
5	Describir personas y experiencias. (Unidad 3)	Vocabulario sobre la personalidad, vocabulario sobre la familia, vocabulario para valorar hechos, ser/estar+adjetivo, pretérito perfecto.
6	Hablar de costumbres sociales y de obligaciones. (Unidad 3)	Vocabulario sobre costumbres y normas sociales, hay que, (no) se puede.
7	Hablar del futuro y realizar predicciones. (Unidad 4)	Vocabulario sobre la vivienda y la decoración, vocabulario sobre acontecimientos vitales e históricos, me gustaría+infinitivo, futuro imperfecto, condicionales.
8	Hablar sobre regalos. (Unidad 4)	Vocabulario sobre regalos, pronombres de objeto directo e indirecto.
9	Permisos y favores.*	Puedo+infinitivo, puedes+infinitivo, imperativo para dar permiso, lo siento, es que...(explicación del motivo para denegar permiso).
10	Hablar de hábitos y circunstancias en el pasado. (Unidad 5)	Pretérito imperfecto.
11	Comparar. (Unidad 5)	Comparativos y superlativos, instrucciones
12	Anunciarse, comprar y vender. (Unidad 6)	Vocabulario y expresiones para anuncios, diálogos por teléfono, algo/nada, alguien/nadie, algún/ningún
13	Dar instrucciones para cocinar. (Unidad 6)	Vocabulario de cocina, impersonales con se.
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Español en marcha 2. Libro del alumno	Francisca Castro Viúdez, Ignacio Rodero Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL / 84-9778-273-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用Ⅱ 2A

10235

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones.*	
2	Repaso del curso anterior.*	
3	Dar y pedir consejos. (Unidad 7)	Vocabulario sobre estados de ánimo y la salud, imperativo afirmativo y negativo, ser/estar.
4	Expresar deseos. (Unidad 7)	Expresiones para expresar deseos, presente de subjuntivo.
5	Hablar de las condiciones de trabajo y estudio. (Unidad 8)*	Vocabulario sobre actividades del trabajo y los estudios, vocabulario sobre profesiones y estudios, expresiones de frecuencia, adverbios de cantidad.
6	Explicar sucesos. (Unidad 8)	Pretérito imperfecto de estar + gerundio, pretérito pluscuamperfecto.
7	Excusas y mensajes. (Unidad 8)*	Estilo indirecto.
8	Hablar sobre el tiempo libre. (Unidad 9)	Vocabulario sobre actividades del tiempo libre, llevar+gerundio, pretérito indefinido/pretérito imperfecto.
9	Opinar. (Unidad 9)	A mí me parece, yo creo/pienso, (no) me interesa, a mí también/tampoco.
10	Describir lugares y el clima.*	Adjetivos para describir ciudades, regiones y países, expresiones para expresar la situación geográfica, vocabulario para describir el paisaje, vocabulario sobre el clima, hace+sustantivo, está+participio, llover, nevar, muy, mucho, bastante, poco, vocabulario para explicar los productos característicos de un lugar, es famoso(a) por...
11	Hablar sobre planes. (Unidad 10)	Voy a+infinitivo, pienso+infinitivo, cuando+indicativo o subjuntivo.
12	Describir objetos. (Unidad 10)	Oraciones de relativo.
13	Una entrevista de trabajo.*	Vocabulario sobre aptitudes, saber, poder, conocer, tener experiencia en..., escritura del currículum vitae
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

平常点(検証テスト) 80 %

平常点(日常的) 20 %

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

Español en marcha 2. Libro del alumno

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Francisca Castro Viúdez, Ignacio Roderó Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL /
84-9778-273-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・応用Ⅱ 2B

12096

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Se integran y amplían los conocimientos adquiridos en los cursos anteriores, consolidando la competencia lingüística y comunicativa. Para ello, se crean situaciones de comunicación realistas para practicar las cuatro destrezas en español, y se estudia el vocabulario y la gramática necesarios en dichas situaciones.

到達目標 / Attainment Objectives

Ser capaz de describir y narrar hechos en diferentes momentos temporales, describir sentimientos y estados de ánimo, hablar de planes y deseos, expresar opiniones, y desenvolverse en situaciones cotidianas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Introducción y presentaciones.*	
2	Repaso del curso anterior.*	
3	Dar y pedir consejos. (Unidad 7)	Vocabulario sobre estados de ánimo y la salud, imperativo afirmativo y negativo, ser/estar.
4	Expresar deseos. (Unidad 7)	Expresiones para expresar deseos, presente de subjuntivo.
5	Hablar de las condiciones de trabajo y estudio. (Unidad 8)*	Vocabulario sobre actividades del trabajo y los estudios, vocabulario sobre profesiones y estudios, expresiones de frecuencia, adverbios de cantidad.
6	Explicar sucesos. (Unidad 8)	Pretérito imperfecto de estar + gerundio, pretérito pluscuamperfecto.
7	Excusas y mensajes. (Unidad 8)*	Estilo indirecto.
8	Hablar sobre el tiempo libre. (Unidad 9)	Vocabulario sobre actividades del tiempo libre, llevar+gerundio, pretérito indefinido/pretérito imperfecto.
9	Opinar. (Unidad 9)	A mí me parece, yo creo/pienso, (no) me interesa, a mí también/tampoco.
10	Describir lugares y el clima.*	Adjetivos para describir ciudades, regiones y países, expresiones para expresar la situación geográfica, vocabulario para describir el paisaje, vocabulario sobre el clima, hace+sustantivo, está+participio, llover, nevar, muy, mucho, bastante, poco, vocabulario para explicar los productos característicos de un lugar, es famoso(a) por...
11	Hablar sobre planes. (Unidad 10)	Voy a+infinitivo, pienso+infinitivo, cuando+indicativo o subjuntivo.
12	Describir objetos. (Unidad 10)	Oraciones de relativo.
13	Una entrevista de trabajo.*	Vocabulario sobre aptitudes, saber, poder, conocer, tener experiencia en..., escritura del currículum vitae
14	Repaso del curso 1.*	
15	Repaso del curso 2 y examen final.*	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks書名 / Title

Español en marcha 2. Libro del alumno

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, CommentFrancisca Castro Viúdez, Ignacio Rodero Díez, Carmen Sardinero Franco / SGEL /
84-9778-273-9 /参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

スペイン語・基礎 2A

10057

担当者名 / Instructor 安田 圭史、村上 由利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終 わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	iHola! 《ホテルに泊まる》	
	¿Cómo estás? 《入学手続き》	
	¿Hablas español? 《自己紹介》	
	¿Tienes tiempo? 《学校での会話》	
	¿Te gusta el fútbol? 《友人との会話》	
	Nuestro equipo es más fuerte. 《サッカーのテレビ観戦》	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	50 %	検定テストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加、小テスト、提出物、等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
動く！スペイン語	福嶋教隆／朝日出版／978-4-255-55023-7／
後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・基礎 2B

10908

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終 わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	iHola! 《ホテルに泊まる》	
	¿Cómo estás? 《入学手続き》	
	¿Hablas español? 《自己紹介》	
	¿Tienes tiempo? 《学校での会話》	
	¿Te gusta el fútbol? 《友人との会話》	
	Nuestro equipo es más fuerte. 《サッカーのテレビ観戦》	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	50 %	検定テストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加、小テスト、提出物、等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
動く！スペイン語	福嶋教隆／朝日出版／978-4-255-55023-7／
後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I 3A

10012

担当者名 / Instructor 田中 由美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終 わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得する必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
後期「総合II」でも同じ教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I 3B

10139

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。授業は15回行う。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期「総合II」でも同じ教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I 3C

10147

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。授業は15回行う。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
後期「総合II」でも同じ教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I 3D

11887

担当者名 / Instructor 村上 由利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終 わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得する必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期「総合II」でも同じ教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合I 3E

10146

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、綴り、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形まで)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。授業は15回行う。	
	文字・発音・音節の分け方・読み方の指針	
	名詞の性・名詞の数	
	冠詞・形容詞	
	主格人称代名詞・動詞serとestarの直説法現在	
	hayの用法・規則動詞の直説法現在	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
後期「総合II」でも同じ教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3A

11943

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, 小テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3B

12086

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, 小テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3C

10099

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, 小テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三 / 同学社 / 4-8102-0360-3 /
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他 / 三省堂 / 4-385-12195-8 /
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他 / 白水社 / 4-560-00047-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3D

12070

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, 小テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・総合Ⅱ 3E

10227

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語総合Ⅰ」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(現在形程度)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。 授業は15回行う。	
	所有形容詞・所有代名詞・指示形容詞・指示代名詞	
	語根母音変化動詞・その他の不規則動詞	
	疑問文・不定語と否定語・主な前置詞の用法	
	目的格人称代名詞・前置詞格人称代名詞	
	時刻の表現・日付の表現・副詞	
	再帰代名詞・現在分詞・感嘆文	
	まとめと検証試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加, 小テスト, 提出物, 等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得している必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語玉手箱	山崎信三／同学社／4-8102-0360-3／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 2A

10979

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	Traté de ser traductora. 《過去のことを語る》	
	Cuando era niña... 《過去のことを語る・買い物》	
	¿De qué estáis hablando? 《電子メール》	
	Se llama Soseki Natsume. 《パーティー》	
	¡Ojalá pasemos los exámenes! 《テスト》	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	検証テストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加、小テスト、提出物、等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
動く！スペイン語	福嶋教隆／朝日出版／978-4-255-55023-7／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・展開 2B

10130

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳、安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「スペイン語基礎」に引き続き、基礎文法を習得し、語彙、表現力を高める。スペイン語検定5級相当の言語運用能力を身につけることを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(過去形から)の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	以下のように教科書に沿って進める。教科書の後半を終わる予定であるが、状況に応じて多少進度は調整する。	
	Traté de ser traductora. 《過去のことを語る》	
	Cuando era niña... 《過去のことを語る・買い物》	
	¿De qué estáis hablando? 《電子メール》	
	Se llama Soseki Natsume. 《パーティー》	
	¡Ojalá pasemos los exámenes! 《テスト》	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	検証テストは、都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。
平常点(日常的)	50 %	積極的な授業への参加、小テスト、提出物、等
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
動く！スペイン語	福嶋教隆／朝日出版／978-4-255-55023-7／
前期に使用した教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／
クラウン和西辞典	カルロス・ルビオ、他／三省堂／4-385-12195-8／
和西辞典(改訂版)	宮城昇、他／白水社／4-560-00047-6／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

その他 / Others

スペイン語・表現I 2A

11998

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 2B

10148

担当者名 / Instructor KAWAKUBO SUMIKA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

到達目標 / Attainment Objectives

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 3A

11999

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 3B

12011

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 3C

11867

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 3D

10136

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現I 3E

11886

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
第2回	1. アルファベットと発音 El alfabeto.	
第3回	1. 自己紹介 Presentaciones.	
第4回	1. 職業について Ocupaciones.	
第5回	1. 家族について La familia.	
第6回	1. 自分自身について ¿Cómo eres?	
第7回	1. 調子は同ですか? ¿Cómo estás?	
第8回	1. レストランで En un restaurante.	
第9回	1. いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
第10回	1. 住居について La casa.	
第11回	1. 住所の説明 Dar direcciones.	
第12回	1. 時刻等の言い方 El tiempo cronológico	
第13回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第14回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第15回	1. まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

S後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ 2A

10222

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語・表現Ⅱ 2B

12085

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kohgakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ 3A

10214

担当者名 / Instructor GUERRERO RAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
iÁnimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現II 3B

10096

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ 3C

12071

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現II 3D

10100

担当者名 / Instructor KAWAKUBO SUMIKA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語・表現Ⅱ 3E

11942

担当者名 / Instructor JUSTE JORDI

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現Ⅰ」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
第2回	1. 「スペイン語表現Ⅰ」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
第3回	1. 人の好みと趣味について Preferencias.	
第4回	1. スペイン語で買い物1 De compras en español 1.	
第5回	1. 最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	2. 現在完了 Pretérito perfecto
第6回	1. 過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	2. 点過去 Pretérito indefinido
第7回	1. 提案を行う Proponer actividades comunes.	
第8回	1. 未来について話す Hablar del futuro.	
第9回	1. 過去について話す Hablar del pasado.	2. 線過去 Pretérito imperfecto
第10回	1. 進行中の行為について話す Acciones en curso.	2. 進行形 Gerundio
第11回	1. スペイン語で買い物 De compras en español 2	
第12回	1. まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
第13回	1. まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
第14回	1. まとめとその他のテーマ3 Preparación para el examen	
第15回	1. まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

後に復習できるよう授業中にしっかりとノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
¡Ánimo!	Lluís Valls / Kogakusha / 4-902964-03-1 C1086 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I 2A

10026

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I 2B § 中国語・総合2 2B

10027

担当者名 / Instructor 村上 志保

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I 2C

10156

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓀／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用I 2D

10157

担当者名 / Instructor 齋藤 真司

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」などで学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す力」、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、一回生時に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「北京の小学校」	
第3回	会話1 我是日本人	
第4回	本文「北京のアフターファイブ」	
第5回	会話2 北京有名な酒吧	
第6回	本文「中国流行歌謡界」	
第7回	会話3 王菲的歌	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「新北京の足」	
第10回	会話4 我也想買車	
第11回	本文「中国メディア事情」	
第12回	会話5 北京的天気	
第13回	本文「港町天津」	
第14回	会話6 天津的食品街	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蔭／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用Ⅱ 2A

10101

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢？	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用II 2B

10102

担当者名 / Instructor 村上 志保

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢？	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用Ⅱ 2C

10237

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢?	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・応用II 2D

10238

担当者名 / Instructor 齋藤 真司

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・総合・表現」で学んだ中国語の知識を生かしながら、中国語のコミュニケーション能力を育成していきます。「聴く」力、「話す」力、「読む」力、「書く」力を総合的に伸ばすことを目標とします。中国市民生活の様々な場面を紹介する読解文と、それに関連する実用の会話文を学習していきます。文法事項の補足説明を随時行いながら、読解、音声、視覚などの総合手段を運用して中国語の総合的レベルアップを図っていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

- ◎中国の社会、文化、習慣などへの知識や興味を深め、視野を広げる。
- ◎中国語を聞く力、話す力をさらに向上させる。
- ◎中国語の文章を読む力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業計画紹介及び復習。授業の内容や計画を紹介しながら、前期に学んだ知識を確認する。	
第2回	本文「骨董ブーム」	
第3回	会話7 多少錢?	
第4回	本文「北京の職人」	
第5回	会話8 我想刻図章	
第6回	本文「北京郊外」	
第7回	会話9 比城里的空氣好	
第8回	中間復習と中間小テスト	
第9回	本文「中国飲食文化」	
第10回	会話10 今天我請客	
第11回	本文「未来の京劇スターの夢」	
第12回	会話11 好久不見了	
第13回	本文「オリンピックと胡同」	
第14回	会話12 北京奧運会	
第15回	全体のまとめと確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《北京コレクション——初級～中級篇——》	相原茂・陳祖蓓／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・基礎 2A

10737

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・基礎 2B

10738

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・基礎 2C

10910

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3A

10019

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3B

10020

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3C

10021

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3D

10143

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3E

10140

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3F

10144

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合I 3G

10145

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第1課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第2課の文法を学習する。	
第7週	テキストの第2課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第3課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第4課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第4課の本文を学習する。	
第13週	テキストの第5課の文法を学習する。	
第14週	テキストの第5課の本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	0 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ 3A

10094

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II 3B

10095

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ 3C

10097

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II 3D

10223

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ 3E

10224

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II 3F

10225

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・総合II 3G

10226

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合 I」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつと習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課の文法を学習する。	
第3週	テキストの第6課の本文を学習する。	
第4週	テキストの第7課の文法を学習する。	
第5週	テキストの第7課の本文を学習する。	
第6週	テキストの第8課の文法を学習する	
第7週	テキストの第8課の本文を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課の文法を学習する。	
第10週	テキストの第9課の本文を学習する。	
第11週	テキストの第10課の文法を学習する。	
第12週	テキストの第10課の本文を学習する。	
第13週	受身文の文法や本文を学習する。	
第14週	使役文の文法や本文を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 2A

10812

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつとおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 2B

10813

担当者名 / Instructor 鷺尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・展開 2C

10980

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 2A

10015

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 2B

10016

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 2C

10137

担当者名 / Instructor 胡 玉華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第2課を学習する。	
第6週	テキストの第3課を学習する。	
第7週	テキストの第4課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第5課を学習する。	
第10週	テキストの第6課を学習する。	
第11週	テキストの第7課を学習する。	
第12週	テキストの第8課を学習する。	
第13週	テキストの第9課を学習する。	
第14週	テキストの第10課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3A

11877

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3B

11878

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3C

11879

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3D

11880

担当者名 / Instructor 張 恒悦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3E

12012

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3F

12013

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現I 3G

12005

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週～第3週	中国語の発音(ピンイン)や声調などを学習する。発音テスト。	
第4週	テキストの第1課を学習する。	
第5週	テキストの第1課を学習する。	
第6週	テキストの第2課を学習する。	
第7週	テキストの第2課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第3課を学習する。	
第10週	テキストの第3課を学習する。	
第11週	テキストの第4課を学習する。	
第12週	テキストの第4課を学習する。	
第13週	テキストの第5課を学習する。	
第14週	テキストの第5課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 2A

10092

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 2B

10093

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 2C § 中国語・表現2 2C

10220

担当者名 / Instructor 胡 玉華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第1課を学習する。	
第3週	テキストの第2課を学習する。	
第4週	テキストの第3課を学習する。	
第5週	テキストの第4課を学習する。	
第6週	テキストの第5課を学習する。	
第7週	テキストの第6課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第7課を学習する。	
第10週	テキストの第8課を学習する。	
第11週	テキストの第9課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	テキストの第11課を学習する。	
第14週	テキストの第12課を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅡ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 3A

11937

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II 3B

11938

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 3C

11939

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II 3D

11940

担当者名 / Instructor 張 恒悦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 3E

12081

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現Ⅱ 3F

12082

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現Ⅰ」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベルⅠ》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語・表現II 3G

12083

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1週	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
第2週	テキストの第6課を学習する。	
第3週	テキストの第6課を学習する。	
第4週	テキストの第7課を学習する。	
第5週	テキストの第7課を学習する。	
第6週	テキストの第8課を学習する	
第7週	テキストの第8課を学習する。	
第8週	中間まとめ、中間小テスト。	
第9週	テキストの第9課を学習する。	
第10週	テキストの第9課を学習する。	
第11週	テキストの第10課を学習する。	
第12週	テキストの第10課を学習する。	
第13週	受身文の会話を学習する。	
第14週	使役文の会話を学習する。	
第15週	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
《コミュニケーション中国語 レベル I》	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用I 2A

10028

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用Iでは、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用<1>	
第13回	用言の変則活用<1>	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用I 2B

10699

担当者名 / Instructor 中村 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用Iでは、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用<1>	
第13回	用言の変則活用<1>	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用Ⅱ 2A

10789

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

応用Ⅱでは、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・応用Ⅱ 2B

10236

担当者名 / Instructor 中村 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

応用Ⅱでは、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・基礎 2A

10739

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から始め、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・基礎 2B

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・総合I 3A

10018

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音Ⅱ	
第3回	文字と発音Ⅲ	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用(1)	
第13回	用言の変則活用(1)	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合I 3B

12003

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音	
第2回	文字と発音Ⅱ	
第3回	文字と発音Ⅲ	
第4回	発音の変化	
第5回	小テスト、文字と発音のおさらい	
第6回	指定詞、指示詞	
第7回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第8回	総合復習	
第9回	丁寧形(ヘヨ体)	
第10回	丁寧形(ヘヨ体)	
第11回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第12回	用言の変則活用(1)	
第13回	用言の変則活用(1)	
第14回	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合Ⅱ 3A

10098

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合Ⅰ文法事項の復習	
第2回	総合Ⅰの文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・総合II 3B

10215

担当者名 / Instructor 南 裕恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Iに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	総合I文法事項の復習	
第2回	総合Iの文法事項の復習	
第3回	過去形	
第4回	過去形	
第5回	接続語尾〈1〉	
第6回	接続語尾〈1〉、疑問詞	
第7回	漢数詞	
第8回	漢数詞を使った表現	
第9回	固有数詞	
第10回	固有数詞を使った表現	
第11回	否定形	
第12回	不可能の表現	
第13回	好みの表現	
第14回	願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 2A

10262

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎で学んだ文法知識をよりいっそう確実なものにするとともに、朝鮮語の会話の基本として重要な尊敬形や連体形など、新しい文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

学習した文法知識を用いてある程度まとまった文章を書き、朝鮮語で書かれた簡単な文章が読めるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・展開 2B

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現I 2A

10014

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 2B

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現I 3A

12000

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現I 3B

10017

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	文字と発音 I	
第2回	文字と発音 II	
第3回	文字と発音 III	
第4回	発音の変化	
第5回	指定詞、指示詞	
第6回	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
第7回	丁寧形(ヘヨ体)	
第8回	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
第9回	過去形	
第10回	接続語尾<1>、疑問詞	
第11回	漢数詞、漢数詞を使った表現	
第12回	固有数詞、時刻の表現	
第13回	否定形、不可能の表現	
第14回	好みの表現、願望の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ 2A

10773

担当者名 / Instructor 嚴 敬俊

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ 2B

本文無し

担当者名 / Instructor単位数 / Credit授業の概要 / Course Outline到達目標 / Attainment Objectives履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study授業スケジュール / Course Schedule(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods教科書 / Textbooks参考書 / Reference Books参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Referenceその他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ 3A

12084

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語・表現Ⅱ 3B

11941

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	基礎の復習	
第2回	基礎の復習	
第3回	尊敬形	
第4回	尊敬の否定形	
第5回	現在連体形	
第6回	未来連体形	
第7回	未来連体形	
第8回	過去連体形	
第9回	連体形のおさらい	
第10回	意志・未来時制	
第11回	下称体	
第12回	引用文	
第13回	パンマル	
第14回	状態変化と受身の表現	
第15回	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	到達度検証試験
平常点(日常的)	40 %	出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングル ―コミュニケーションのために―』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語・応用I 2A

11888

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするとともに、さらに発展させることを目標とした授業です。簡単なテキストを文字と音声の両面から理解しつつ多様な練習問題を解くことによって、文法理解を深め、語彙を豊富にし、読解力と表現力の向上をめざします。なお、下記の授業ごとに示した文法のキーワードは新たな学習事項ではなく既習事項ばかりです。確認と練習のポイントとして各授業で取り上げるものです。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・簡単なテキストを読んで理解し、聞いて分かるようになる
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる
- ・挨拶などの基本的な会話ができ、自己紹介などの簡単な文章が書けるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2	Lek.1 Deutschsprachiger Raum.	動詞の現在人称変化、名詞の複数形、動詞の命令形
3-4	Lek.2 Spaeter	名詞と冠詞の格変化、前置詞の格支配
5-6	Lek.3 Charlie Chaplin	動詞の3基本形、過去人称変化、副文
7	学習事項のチェックと中間テスト1	
8-9	Lek.4 Scheinpraeparat	現在完了、geの付かない過去分詞
10-11	Lek.5 Der schlaue Verkaeufer	分離動詞、未来形
12	学習事項のチェックと中間テスト2	話法の助動詞、形容詞の比較変化
13	Lek.6 Der Schirm	話法の助動詞①
14	Lek.7 Wie viel kostet eine Nacht?	話法の助動詞②、形容詞の比較変化
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂版・ドイツ語ユーモア小品集	菊池悦朗／第三書房／978-4-8086-1117／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・応用Ⅱ 2A

11947

担当者名 / Instructor 竹治 進

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「応用Ⅰ」に引き続き、1回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本知識とスキルを確実なものにするとともに、さらに発展させることを目標とした授業です。簡単なテキストを文字と音声の両面から理解しつつ多様な練習問題を解くことによって、文法理解を深め、語彙を豊富にし、読解力と表現力の向上をめざします。なお、下記の授業ごとに示した文法のキーワードは新たな学習事項ではなく既習事項ばかりです。確認と練習のポイントとして各授業で取り上げるものです。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・簡単なテキストを読んで理解し、聞いて分かるようになる
- ・辞書の取り扱いに習熟し、すこし長い文章でも辞書を引ながら理解できるようになる
- ・挨拶などの基本的な会話ができ、自己紹介などの簡単な文章が書けるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2	Lek.8 Wessen Wahl?	再帰代名詞、再帰動詞
3-4	Lek.9 Ideal und Wirklichkeit	接続法第Ⅱ式
5	Lek.10 Eine seltsame Begegnung	関係代名詞
6	学習事項のチェックと中間テスト1	
7	Lek.11 Das Boot hat ein Loch	受動態
8	Lek.12 Traeume sind Schaeume	接続法第Ⅰ式
9	Lek.13 Wer hat Abraham Lincoln erschossen?	接続詞と副文
10	Lek.14 Gestörter Schlaf	
11	Lek.15 Eine Belohnung von einer stoerischen Kuh	
12	学習事項のチェックと中間テスト2	
13-14	ドイツ語をとおして得る世界の最新情報	
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂版・ドイツ語ユーモア小品集	菊池悦朗／第三書房／978-4-8086-1117／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学・奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・基礎 2A

10186

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とアルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1A Wie heisst du?	平叙文と疑問文、人称代名詞、規則変化動詞、数詞(1~19)
4-7	Lek.1B Hast du morgen Abend Zeit?	sein・haben、定動詞の位置、挨拶と自己紹介、専攻の名称
8-10	Lek.2A Dann nehme ich den Kaesekuchen.	名詞と冠詞の格と性(1格と4格)、数詞(~100)、値段の表現
11-14	Lek.2B Das ist meine Familie. 中間テスト1	名詞の複数、所有冠詞・否定冠詞、家族の紹介、職業と趣味の語彙
15-16	Lek.3A Midori faehrt nach Kassel.	不規則動詞の現在人称変化、命令と依頼の表現、時刻の表現
17-19	Lek.3B "Rotkaepchen" gefaellt mir besonders gut.	疑問詞、3格・2格、定冠詞類、人称代名詞
20-24	Lek.4A Dresden liegt an der Elbe. 中間テスト2	前置詞の格支配、曜日・月・季節の名称
25-28	Lek.4B Ich rufe dich an.	話法の助動詞、分離動詞
29-30	前期の学習事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／ISBN978-4-255-25297-1 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3A

12001

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3B

10024

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合I 3C

11882

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞、再帰代名詞・再帰動詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段)などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1 動詞の現在人称変化と語順	定動詞の位置、挨拶と自己紹介、趣味の表現
4-6	Lek.2 名詞の性と格変化、重要な動詞	冠詞の使い方、sein・haben・werden
7-8	Lek.3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格	買い物の表現
9	学習事項の確認とチェック、中間テスト	
10-12	Lek.4 前置詞、副文	予定を告げる表現、曜日
13-14	Lek.5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格	時間の表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間(話すための文法)改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合Ⅱ 3A

12078

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II 3B

10089

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひとつと学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合 I」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・総合II 3C

11934

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合 I」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合 I」で学習した事項の確認	
2-3	Lek.6 冠詞類	年齢、家族の紹介
4-5	Lek.7 zu不定詞、分離動詞、話法の助動詞	用事や希望の表現
6-7	Lek.8 過去形・現在完了形、受動態	過去の事柄の表現
8	ここまで学習した事項の復習と確認、中間テスト	
9-10	Lek.9 形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11-12	Lek.10 関係代名詞、命令形	身近にある品物の名前、手紙
13-14	Lek.11 接続法	仮定表現
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語の時間〈話すための文法〉改訂版	清野智昭／朝日出版社／ISBN978-4-255-25319-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・展開 2A

10261

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおひとりと学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「基礎」で学習した事項の確認	
2-4	Lek.5A Was hast du in den Sommerferien gemacht?	動詞の3基本形、現在完了
5-7	Lek.5B Wann warst du in Koeln?	過去人称変化、接続詞と副文、副詞句
8-11	Lek.6A Am 23. Oktober wird die Hochzeit gefeiert. 中間テスト1	受動文、序数・日付
12-14	Lek.6B Bei uns ist es kalt.	非人称表現、zu不定詞
15-17	Lek.7A Der blaue Rock hier ist ganz toll.	形容詞の格変化、形容詞の比較級・最上級
18-20	Lek.7B Ich habe mich erkältet.	再帰代名詞・再帰動詞、
21-24	Lek.8A Advent, Advent. 中間テスト2	関係代名詞・関係副詞
25-28	Lek.8B Auf dem Weihnachtsmarkt.	非現実話法
29-30	学習した事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	20 %	1年間のドイツ語学習の熟達度検証としてドイツ語検定試験4級相当レベルの試験を実施します。
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	40 %	出席、授業参加、中間テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／ISBN978-4-255-25297-1 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 2A

11883

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3A

10013

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3B

12014

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみろという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現I 3C

10138

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるといった練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1－4	Guten Tag. Mein Name ist ...	名前、出身地、言語、挨拶、一人称と二人称、アルファベット、疑問詞
5－7	Familie und Freunde	家族と友人、住所、三人称、20までの数、所有冠詞
8－10	Essen und Trinken	果物、飲み物、その他の食品、買い物、好み、ユーロとセント、不定冠詞と否定冠詞、決定疑問文、100までの数
11－13	Meine Wohnung	住まい、家具、色彩名、新聞広告、定冠詞、述語形容詞、
14－15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Niebisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現Ⅱ 2A

11935

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Nieisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3A

10090

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Nieisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3B

12079

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Nieisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

ドイツ語・表現II 3C

10216

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみようという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「表現1」の復習	
2-5	Mein Tag	一日の行動、趣味、時刻、曜日、分離動詞
6-9	Freizeit	天候、季節、方位、買い物とレストランでの食事、余暇と趣味、冠詞の4格
10-13	Lernen	能力と意図、過去の出来事・行動の記述と報告、助言、話法の助動詞、現在完了
14-15	復習、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 1	Kursbuch+Arbeitsbuch D.Nieisch他 / Max Hueber Verlag / ISBN 3-19-001851-0

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

その他 / Others

フランス語・応用 I 2A

10155

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語基礎・展開で学んだ文法知識を用いながら、簡単なフランス語の文章を読んでいます。そうすることで、フランス語にかんする知識を確実なものにし、基本的な「読む力」の獲得を目指します。
また、「聞く力」の継続的な獲得も目指します。プリントを使用します。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的なフランス語の文章を、辞書を引きながら読みこなせるようになることを、目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

別にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	名詞のシステム、不定冠詞、部分冠詞、定冠詞。	
第2回	フランス語の基本文型、フランス語の文法用語	
第3回	疑問代名詞	
第4回	関係代名詞 I	
第5回	関係代名詞 II	
第6回	代名動詞	
第7回	補語人称代名詞	
第8回	中性代名詞	
第9回	複合過去形	
第10回	半過去形	
第11回	大過去形	
第12回	単純未来形	
第13回	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
第14回	過去分詞の性・数一致	
第15回	総括講義と試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

三分の二以上の出席が必要です。その上で総合的な評価を行います。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・応用Ⅱ 2A

10234

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語応用Ⅰに引き続き、フランス語の基礎知識をベースに、さまざまなテキストを用いながら初級レベルから中級レベルへの橋渡しを目指します。読むことに力点をおいた教材を使いますが、それはたんに読解力の養成のみを目標としたものではありません。読むことによって文法知識を確実なものにし、語彙を豊富にし、構文を正しく理解することができますし、それは、書く・聞く・話すという総合的なフランス語運用能力の向上にも資するものです。プリントを使用します。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・フランス語の文法をしっかりと身につける
- ・フランス語の語彙を豊かにする
- ・フランス語の論理構造になれる
- ・フランス語圏の社会や文化を知る

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

別にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	代名動詞の複合時制	
第2回	関係節における複合時制	
第3回	フランス語の受動表現	
第4回	条件法現在形	
第5回	条件法過去形	
第6回	現在分詞とジェロンディフ	
第7回	接続法現在形	
第8回	接続法過去形	
第9回	間接話法と直接話法	
第10回	聞き取りと書き取り①	
第11回	聞き取りと書き取り②	
第12回	講読①	
第13回	講読②	
第14回	講読③	
第15回	総括講義と試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

三分の二以上の出席が必要です。その上で総合的な評価を行います。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・基礎 2A

10909

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語のThis is a penを、フランス語で言う？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・彼女は食いしん坊！1	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35181-0／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・基礎 2B

10911

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
7	英語の This is a pen を、フランス語で言う？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング、
29	前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・彼女は食いしん坊！1	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35181-0／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入ください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I 3A

10022

担当者名 / Instructor 藤田 義孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランス	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I 3B

10025

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランス	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I 3C

10141

担当者名 / Instructor 藤田 義孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランス	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I 3D

10152

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランス	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合I 3E

10153

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランス	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／
教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II 3A

10091

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランセ	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II 3B

10218

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランセ	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II 3C

10219

担当者名 / Instructor 藤田 義孝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to you/I you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランセ	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合II 3D

10231

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランセ	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・総合Ⅱ 3E

10232

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1 回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。

なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合1」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわたことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アトリエ・フランセ	石上亜紀子、他／朝日出版社／978-4-255-35184-1／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード

クラウン

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取って見て、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・展開 2A

10981

担当者名 / Instructor 藤田 義孝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張ってください。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (〜出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば・・・	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みませんか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
彼女は食いしん坊！2	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35166-7／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・展開 2B

10982

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張ってください。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir (〜出来る) を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば・・・	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みませんか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点(日常的)	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
彼女は食いしん坊！2	藤田裕二／朝日出版社／978-4-255-35166-7／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス(<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク(<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

その他 / Others

フランス語・表現I 2A

10142

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 2B

10154

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 3A

11876

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 3B

11881

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 3C

12004

担当者名 / Instructor CORBEIL STEVE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 3D

12018

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現I 3E

12019

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。

まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 2A

10217

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15 回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 2B

10233

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 3A

11925

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 3B

11936

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 3C

12080

担当者名 / Instructor CORBEIL STEVE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 3D

12090

担当者名 / Instructor DELBARRE FRANCK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語・表現Ⅱ 3E

12091

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、週 1 回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケーションをはかってください。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語上級コミュニケーションI K

11021

担当者名 / Instructor CRAMER THOMAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Dieser Kurs soll die Kommunikationsfähigkeiten der Studenten vertiefen. Themen wie Reise, Wochenendaktivitäten, Einkauf und Produktbeschreibungen sollen die Studenten in die Lage versetzen, auf Situationen im Alltag reagieren zu können.

到達目標 / Attainment Objectives

Dieser Kurs soll Studenten mit Vorkenntnissen helfen, ihre Kenntnisse der Deutschen Sprache zu erweitern. Besondere Aufmerksamkeit gelten der Erweiterung des Sprachwortschatzes, dem Hörverstehen und der Verbesserung der Fähigkeiten im Lesen und Schreiben.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回－第2回	Lektion8. Am Wochenende	
第3回－第4回	Lektion9. Warenwelt	
第5回－第6回	Lektion10. Kommunikation	
第7回－第8回	Lektion11. Unterwegs	
第9回－第10回	Lektion12. Reisen	
第11回－第12回	Lektion13. Geld	
第13回－第14回	Lektion14. Lebensstationen	
第15回	確認テストおよび総括講義	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	33 %	Zum Abschluss des Kurses werden die Fähigkeiten der Studenten schriftlich geprüft.
平常点(日常的)	67 %	Minitests nach dem Abschluss von jeder Lektion, Bewertung von Hausaufgaben, aktive Mitarbeit
Regelmäßige Anwesenheit, Mitarbeit im Unterricht, kleine Hausaufgaben und Abschlusstest		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Den Studenten wird empfohlen, in eigenständiger Arbeit regelmäßig die Phonetik-CD zu hören. Weiterhin ist es wird die Nutzung der Lernwortschatzseiten und des Lerntagesbuchs nachdrücklich empfohlen.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 4	Silke Hilpert/Hueber/978-3-19-001854-3/
Die Studenten sollten vor jeder Klasse den Inhalt des vorherigen Unterrichts mit Hilfe des Textbuches wiederholen.	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.hueber.de/shared/uebungen/schritte-international/>

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解I K

11518

担当者名 / Instructor 吉田 耕太郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基礎文法を習得した学生を対象に、ドイツ語の読解力およびヒアリング力を高めるための授業です。さしあたり、ドイツの時事問題をあつかったテキストを教科書として利用して、読解力とヒアリング力を高める訓練を積みたいたいとおもいます。またドイツの新聞や雑誌などから、関連するテーマのテキストを読むことで、語彙を増やし、生きたドイツ語を読むための実践的な橋渡しの授業をめざしています。

なおテーマの選択では受講者の問題関心を優先したいと思っています。授業をすすめるなかで関心のあるテーマについての意見交換をしながら、受講者が興味関心を共有することができるテーマを中心とした授業にしたいと考えています。(短い文学作品や、映画・オペラのシナリオや台本、研究論文でもかまいません)

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なドイツ語の新聞を読むことができ、またニュースを聞き取ることができるようになることが到達目標です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

ドイツ語の基礎文法を習得していることが望ましいが、授業中に文法事項の復習をすることになりますので、既に身に付けた知識よりも、ドイツ語力を高めたいという気持ちを歓迎します。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツの文化について(1)	
2	ドイツの文化について(2)	
3	ドイツの文化について(3)	
4	ドイツの文化について(4)ー語彙を増やす	補助テキスト
5	ドイツの文化について(5)ー語彙を増やす	補助テキスト
6	ドイツの政治について(1)ー読解とヒアリング	
7	ドイツの政治について(2)ー読解とヒアリング	
8	ドイツの政治について(3)	
9	ドイツの政治について(4)ー語彙を増やす	補助テキスト
10	ドイツの政治について(5)ー語彙を増やす	補助テキスト
11	ドイツの社会について(1)	
12	ドイツの社会について(2)	
13	ドイツの社会について(3)	
14	ドイツの社会について(4)ー語彙を増やす	補助テキスト
15	ドイツの社会について(5)ー語彙を増やす	補助テキスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業の予習、授業中の課題への取り組みを評価します。
授業の予習はかならずしてきてください。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

ヒアリングのための教材については授業中にアナウンスします。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Neuigkeiten aus Deutschland '07	Andrea Raab / Toshiko Ishii / 朝日出版社 / 978-4-255-25314-5 /
受講者の関心またレベルによっては教科書の変更もありえますので、最初の2回についてはこちらで用意します。なお関連するテキストや補助読本などについては授業のなかで随時提示することになります。	

参考書 / Reference Books

各自辞書(授業では電子辞書でもかまいませんが、予習は紙の辞書を使ってください)を用意してください。また簡単な文法書も手元にあるとよいですね。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語上級表現読解II K

12524

担当者名 / Instructor 玉木 佳代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで学んだドイツ語力を高め、ドイツ語のコミュニケーション能力(表現力)を育成していきます。「話す」力はもちろん、「聴く」力、「書く」力、「読む」力を総合的に伸ばすことを目標とします。テキストは、ドイツ語コミュニケーションクラス(担当者: Thomas Cramer先生)と共同で、「Schritte international 4」を使用します。このため、授業もコミュニケーションクラスと連動して進めますので、両クラスとも受講することを薦めます。毎回の授業で文法の復習や補足を行いながら、各テーマに沿った語彙を身につけていきます。「書く」練習として、短いエッセイを課題とすることもあります。授業で使用する言語は、基本的にドイツ語とします。日常点評価の一環として小テストを適宜行い、最終講義日試験は実施しません。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語の力に関しては、筆記、口頭ともに表現力を伸ばすこと。また、ドイツの文化への理解を深める事。テキストの各テーマに関連した語彙を習得すること。
授業終了時に、検定試験「Start Deutsch 2」に合格できる能力を習得していること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

ドイツ語コミュニケーションクラスIK(担当者: Thomas Cramer先生)と同じテキストを使用し、授業も連動して進めるので、両クラスとも受講することが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Am Wochenende (Lektion 8)	接続法第二式(願望や提案の仕方)
2	Am Wochenende (Lektion 8)	副詞trotzdemの使い方
3	Warenwelt (Lektion 9)	形容詞の格変化
4	Warenwelt (Lektion 9)	形容詞の比較級・最上級
5	Kommunikation (Lektion 10)	受動態
6	Kommunikation (Lektion 10)	-ungによる名詞化など
7	Unterwegs (Lektion 11)	位置を表す前置詞
8	Unterwegs (Lektion 11)	副詞deshalbの使い方、-bar, -ig, -ischなどで終わる形容詞
9	Reisen (Lektion 12)	方向を表す前置詞
10	Reisen (Lektion 12)	形容詞の格変化(強変化)
11	Geld (Lektion 13)	間接疑問文
12	Geld (Lektion 13)	lassenによる使役
13	Lebensstationen (Lektion 14)	過去時制の復習
14	Lebensstationen (Lektion 14)	接続詞やWortbildungの復習
15	まとめ	可能であれば、口答試験を行います。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

単語を覚えたり、文章を書いたりするときは、必ず口に出し、自分の耳で聞くようにしましょう。また、少しでもドイツ語やドイツに触れる機会を増やすようにして下さい(コミュニケーションルームの利用、インターネットでドイツ語のサイトを見ている等)。
テキスト後半部分のワークブックで、授業中に扱えなかった問題も、各自自習用として使用してください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	小テスト、出席状況、課題提出、授業への積極的な参加などを総合評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

言語の習得には「復習」が重要な鍵となります。各授業で扱った事柄を、その都度復習し、次回の授業に臨みましょう。また、分からない事柄は、授業中は勿論、授業外でもどんどん質問してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 4	/ Hueber / 978-3-19-001854-3 /
印刷教材も適宜配布。	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://home.comcast.net/%7Edkalischer/WebRadio/DeutscherRundfunk.htm> (ドイツのラジオが聞けます。)

<http://www.n-tv.de/> (ドイツのニュースを生放送で見ることができます。)

<http://www.tagesschau.de/> (ドイツのニュースを録画で見ることができます。)

<http://www.dw-world.de/> (ドイツの様々な情報が得られます。)

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションI K

11098

担当者名 / Instructor CRAMER THOMAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Dieser Kurs soll die Kommunikationsfähigkeiten der Studenten vertiefen. Themen aus Arbeitswelt, Privatleben, Reiseerlebnissen, Essgewohnheiten sollen die Studenten in die Lage versetzen, auf Situationen im Alltag reagieren zu können.

到達目標 / Attainment Objectives

Dieser Kurs soll Studenten mit Vorkenntnissen helfen, ihre Kenntnisse der Deutschen Sprache zu erweitern. Besondere Aufmerksamkeit gelten der Erweiterung des Sprachwortschatzes, dem Hörverstehen und der Verbesserung der Fähigkeiten im Lesen und Schreiben.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回－第2回	基本文法の復習	
第3回－第6回	Lektion1. Kennenlernen	
第7回－第10回	Lektion2. Zu Hause	
第11回－第14回	Lektion3. GutenAppetit!	
第15回	確認テストおよび総括講義	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	33 %	Zum Abschluss des Kurses werden die Fähigkeiten der Studenten schriftlich geprüft.
平常点(日常的)	67 %	Minitests nach dem Abschluss von jeder Lektion, Bewertung von Hausaufgaben, aktive Mitarbeit
Regelmäßige Anwesenheit, Mitarbeit im Unterricht, kleine Hausaufgaben und Abschlusstest		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Den Studenten wird empfohlen, in eigenständiger Arbeit regelmäßig die Phonetik-CD zu hören. Weiterhin ist es wird die Nutzung der Lernwortschatzseiten und des Lerntagesbuchs nachdrücklich empfohlen.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 3	Silke Hilpert/Hueber/978-3-19-001853-6/
Die Studenten sollten vor jeder Klasse den Inhalt des vorherigen Unterrichts mit Hilfe des Textbuches wiederholen.	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.hueber.de/shared/uebungen/schritte-international/>

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションII K

11133

担当者名 / Instructor CRAMER THOMAS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Dieser Kurs soll die Kommunikationsfähigkeiten der Studenten vertiefen. Themen wie Sport, Fitness, Karriere und Feste sollen die Studenten in die Lage versetzen, auf Situationen im Alltag reagieren zu können.

到達目標 / Attainment Objectives

Dieser Kurs soll Studenten mit Vorkenntnissen helfen, ihre Kenntnisse der Deutschen Sprache zu erweitern. Besondere Aufmerksamkeit gelten der Erweiterung des Sprachwortschatzes, dem Hörverstehen und der Verbesserung der Fähigkeiten im Lesen und Schreiben.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回－第2回	Lektion1.－Lektion2.の復習	
第3回－第5回	Lektion4. Arbeitswelt	
第6回－第8回	Lektion5. Sport und Fitness	
第9回－第11回	Lektion6. Ausbildung und Karriere	
第12回－第14回	Lektion7. Feste und Geschenke	
第15回	確認テストおよび総括講義	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	33 %	Zum Abschluss des Kurses werden die Fähigkeiten der Studenten schriftlich geprüft.
平常点(日常的)	67 %	Minitests nach dem Abschluss von jeder Lektion, Bewertung von Hausaufgaben, aktive Mitarbeit
Regelmäßige Anwesenheit, Mitarbeit im Unterricht, kleine Hausaufgaben und Abschlusstest		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Den Studenten wird empfohlen, in eigenständiger Arbeit regelmäßig die Phonetik-CD zu hören. Weiterhin ist es wird die Nutzung der Lernwortschatzseiten und des Lerntagesbuchs nachdrücklich empfohlen.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Schritte international 3	Silke Hilpert/Hueber/978-3-19-001853-6/

Die Studenten sollten vor jeder Klasse den Inhalt des vorherigen Unterrichts mit Hilfe des Textbuches wiederholen.

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.hueber.de/shared/uebungen/schritte-international/>

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解I K

12681

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①、クイズ①	
3	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②、クイズ②	
4	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③、クイズ③	
5	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④、クイズ④	
6	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤、クイズ⑤	
7	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥、クイズ⑥	
8	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦、クイズ⑦	
9	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧、クイズ⑧	
10	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨、クイズ⑨	
11	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩、クイズ⑩	
12	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪、クイズ⑪	
13	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫、クイズ⑫	
14	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬、クイズ⑬	
15	総括講義、検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	30 %	検証テスト(筆記試験)
平常点(日常的)	70 %	出席、発表、小テスト等

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
 また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。
 月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
 第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解II K

11768

担当者名 / Instructor 吉田 耕太郎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基礎文法を習得した学生を対象に、ドイツ語の読解力およびヒアリング力を高めるための授業です。さしあたって、EUの問題とりわけドイツとポーランドの関係について、それから文化行政をテーマとする新聞記事や論説文をテキストとして準備していますが、テーマの選択では受講者の問題関心を優先したいと思っています。授業をすすめるなかで関心のあるテーマについての意見交換を重ねながら、受講者が興味関心を共有することができるテーマを中心とした授業にしたいと考えています。(場合によっては、短い文学作品や、映画・オペラのシナリオや台本、もちろん研究論文でもかまいません)

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なドイツ語の新聞を読むことができ、またニュースを聞き取ることができるようになることが到達目標です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

ドイツ語の基礎文法を習得していることが望ましいが、授業中に文法事項の復習をすることになりますので、既に身に付けた知識よりも、ドイツ語力を高めたいという気持ちを歓迎します。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (1)	EU問題の基本語彙、ドイツとポーランドの問題の基本語彙の確認 EU, Deutschland, Polen
2	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (2)	EU問題についてのテキストのヒアリング
3	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (3)	EU問題についてのテキストの読解(1)
4	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (4)	EU問題についてのテキストの読解(2)
5	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (5)	ドイツ-ポーランド問題についてのテキストのヒアリング (1)
6	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (6)	ドイツ-ポーランド問題についてのテキストの読解(1)
7	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (7)	ドイツ-ポーランド問題についてのテキストの読解(2)
8	EUのなかのドイツ - ポーランドとの複雑な関係 (8)	ドイツ-ポーランド問題についてのテキストのヒアリング (2)
9	ドイツの文化行政 (1) Kulturpolitik in Deutschland	文化行政についての基本語彙
10	ドイツの文化行政 (1)	文化行政についてのテキストの読解(1)
11	ドイツの文化行政 (1)	文化行政についてのテキストの読解(2)
12	ドイツの文化行政 (1)	文化行政についてのテキストのヒアリング
13	受講者との話し合いによって決めたテーマにもとづいたテキストを読む(1)	
14	受講者との話し合いによって決めたテーマにもとづいたテキストを読む(2)	
15	受講者との話し合いによって決めたテーマにもとづいたテキストを読む(3)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、予習や宿題への取り組み、授業中での課題への取り組みを評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

シラバス中のテーマは仮のものです。参加する学生が共有できるテーマにもとづいたドイツ語のテキストを読んでいきたいと思います。

教科書 / Textbooks

テキストはこちらで用意します。

参考書 / Reference Books

各自、独和辞書そして簡単な文法書を用意しておいてください。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解Ⅲ K

12756

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
2	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
3	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
4	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
5	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
6	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
7	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
8	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
9	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
10	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
11	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
12	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
13	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
14	リスニング⑭、表現⑭、単語テスト⑭、読解⑭	
15	総括講義、検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	30 %	検証テスト(筆記試験)
平常点(日常的)	70 %	出席、発表、小テスト等

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入のこと。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
 また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。
 月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
 第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。
 ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解Ⅳ K

10606

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習(動詞の現在人称変化)、リスニング①	
3	文法の復習(名詞と冠詞)、リスニング②	
4	文法の復習(不規則変化動詞)、リスニング③	
5	文法の復習(命令形)、リスニング④	
6	文法の復習(冠詞類)、リスニング⑤	
7	文法の復習(人称代名詞)、リスニング⑥	
8	文法の復習(前置詞)、リスニング⑦	
9	文法の復習(接続詞)、リスニング⑧	
10	文法の復習(話法の助動詞)、リスニング⑨	
11	文法の復習(分離動詞)、リスニング⑩	
12	文法の復習(再帰代名詞)、リスニング⑪	
13	文法の復習(形容詞)、リスニング⑫	
14	文法の復習(動詞の3基本形と過去)、リスニング⑬	
15	総括講義、検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	検証テスト(筆記試験)
平常点(日常的)	40 %	出席、発表、小テスト等

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のク

スでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

ドイツ語中級表現読解Ⅴ K

10633

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法(未来形)、リスニング①	
2	文法(完了形)、リスニング②	
3	文法(関係代名詞①)、リスニング③	
4	文法(関係代名詞②)、リスニング④	
5	文法(受動)、リスニング⑤	
6	文法(zu不定詞)、リスニング⑥	
7	文法(分詞)、リスニング⑦	
8	文法(接続法①)、リスニング⑧	
9	文法(接続法②)、リスニング⑨	
10	文法(指示代名詞など)、リスニング⑩	
11	文法(総合問題①)、リスニング⑪	
12	文法(総合問題②)、リスニング⑫	
13	文法(総合問題③)、リスニング⑬	
14	文法(総合問題④)、リスニング⑭	
15	総括講義、検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	検証テスト(筆記試験)
平常点(日常的)	40 %	出席、発表、小テスト等

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストはプリントを使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	／三修社／／自習用。希望者のみ購入。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)

を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書および高校の授業で使用していたテキスト等を持参のこと。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

フランス語上級コミュニケーションI K

11031

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

新聞記事(時事問題)の理解とディスカッション力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

新聞記事(時事問題)の理解とディスカッション力を養う。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	学生の自己紹介をします。自分の興味、好きなことなどを話してもらいます。また、この学期の紹介をします。	自己紹介
2	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース1
3	2の続きをします。	フランスのニュース1
4	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース1
5	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース2
6	5の続きをします。	フランスのニュース2
7	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース2
8	フランスの記事を読み、理解する。	フランスのニュース3
9	8の続きをします。	フランスのニュース3
10	学習した記事についてグループディスカッションをします。	フランスのニュース3
11	グループに分かれて、日本のニュースを選ぶ(時事ニュース)。グループで資料のまとめ方等を計画する。	グループ、日本のニュース
12	選んだニュースについて資料を集め、フランス語でまとめる。	グループ、日本のニュース
13	12の続き、まとめ。	グループ、日本のニュースのまとめ
14	発表の練習	発表の練習
15	グループ発表	発表

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への積極参加、授業中の小テスト、発表、グループディスカッション

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストは使用ませんが、選んだテーマについて適当な材料(新聞記事、CD、ビデオカセット)を準備します。

参考書 / Reference Books

テキストは使用しません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語上級表現読解I K

11573

担当者名 / Instructor 松尾 剛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランスに関する正確な知識を得るために、フランスの地理と歴史をテーマとした文章を取り上げ、授業を進めていきます。
取り上げられる文章の難度は、決して高くありません。高度な文章を少し読むよりも、やさしいフランス語の文章を多読することで、読解力を養うことが狙いだからです。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 辞書を引きながら、フランス語の文章をスピーディーに読みこなすができる。
- 2) フランスの地歴にかなする正確な知識を得ている。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語・中級表現読解 I ~ III

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語の実力診断	ガイダンス、基本事項の復習
2	La France : une mosaïque de paysages	フランスの風土
3	Un pays aux mille paysages	様々な顔を持つフランス
4	Une terre généreuse	肥沃な国土
5	L'espace français	フランスの空間
6	Qu'est-ce qu'une ville ?	フランスの都市
7	Mais pourquoi Paris ?	首都、パリ
8	Qu'est-ce que le patrimoine ?	フランスの遺産
9	La Bretagne : les architectes du colossal	ブルターニュ
10	Le Pont du Gard	ローマ帝国
11	Le temps des cathédrales	ノートルダム大聖堂
12	Les Châteaux de Renaissance	フランスの古城
13	L'Urbanisme classique	フランスの都市計画
14	Paris et la Tour Eiffel	エッフェル塔
15	L'Axe historique	バスティーユ広場とラ・デファンス

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

- 1) 自宅での予習・復習を欠かさないようにしてください。
- 2) 自宅での勉強には、紙の辞書を使ってください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A la découverte de la France	斉藤広信 / 白水社 / 4-560-01174-5 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「KSMホームページ」(<http://www.ksm.fr/>) フランス・ニュースが、日本語で読むことが出来ます。とくに「今日のフランス」コーナーは、現在のフランスをリアルタイムに知ることが出来て、大変面白いものになっています。

「ル・モンド・ディプロマティーク日本語版」(<http://www.diplo.jp/>) フランスが誇る国際情報誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。現代世界の抱える諸問題について、思いもかけない視点から考えてみる良い機会です。フランスの視点は、日本はもちろん、アメリカともまったく異なります。「欧米」とひとくくりにすることが以下に無意味なことが、このHPを読むとよくわかります。あ、もちろん無料ですよ。

その他 / Others

語学を学ぶ上で、会話能力はもちろん大切です。しかし、ネット社会が地球規模で発達する今日、読む力を軽視すべきではないでしょう。ネット

ショッピングも、フランスの新聞報道も、フランス人のブログ閲覧も、読む力なしには不可能です。そんな新しい社会に対応した語学力を身に付けることができるように、明るく楽しく頑張りましょう。

フランス語上級表現読解Ⅱ K

12543

担当者名 / Instructor 亀井 大輔

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

文章読解、文法、簡単な聞き取り、簡単な作文などの練習問題を行うことによって、フランス語を総合的に学習します。
学習を通して、フランス語の力を向上させてください。また、フランスの社会や文化にも関心をもってほしい。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語中級・上級レベル。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクション	
2	lecon1 TGVがフランスの地図を変える	
3	つづき	
4	lecon2 再び結婚の時代へ	
5	つづき	
6	lecon3 生命への挑戦	
7	つづき	
8	lecon4 新しい入試制度	
9	つづき	
10	lecon5 フランスのイスラム教徒	
11	つづき	
12	lecon6 フランスの言語事情	
13	つづき	
14	lecon7 新・パリと地方・総復習	
15	つづき	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への参加度、数回実施予定の小テストによって評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
変わるフランス	D.DEMONT・饗庭千代子・平井知香子著／早美出版社／4915471896／毎回使用します。

参考書 / Reference Books

辞書を必ず持参すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションI K

11105

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校で学んだフランス語の応用力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教科書の紹介をします。学生の自己紹介、出席表を作成します。	P.19の復習P、.20-21のL.1
2	暮らし	L.2,P22-23, L.3, P24-25
3	職業	L.4, P.26-27
4	住まい	L.5, P.28-29
5	1人暮らし?	L.6, P30-31
6	リスニング	L.7, P.32-33, P.34
7	リスニング、会話のミニテスト	P.35、
8	発音、たずねかた	L.9, P.36-37, L.10, P.38-39
9	家族	L.11, P.40-41, L.12, P.42-43
10	兄弟	L.13, P.44-45, L.14, P.46-47
11	リスニング、会話のミニテスト	P.48-49
12	所有物	L.16, P.50-51, L.17, P.52-53
13	リスニング	L.18, P.54-55, P.56
14	リスニング	P.57, L.21P.60-61
15	学期の復習、会話のミニテスト	test

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への取り組み態度、会話のミニテスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver.Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションI KK

17134

担当者名 / Instructor LAVELLE MARIE-CLAIRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校で学んだフランス語の応用力を養う。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	教科書の紹介をします。学生の自己紹介、出席表を作成します。	P.19の復習P、.20-21のL.1
2	暮らし	L.2,P22-23, L.3, P24-25
3	職業	L.4, P.26-27
4	住まい	L.5, P.28-29
5	1人暮らし?	L.6, P30-31
6	リスニング	L.7, P.32-33, P.34
7	リスニング、会話のミニテスト	P.35
8	発音、たずねかた	L.9, P.36-37, L.10, P.38-39
9	家族	L.11, P.40-41, L.12, P.42-43
10	兄弟	L.13, P.44-45, L.14, P.46-47
11	リスニング、会話のミニテスト	P.48-49
12	所有物	L.16, P.50-51, L.17, P.52-53
13	リスニング	L.18, P.54-55, P.56
14	リスニング	P.57, L.21P.60-61
15	学期の復習、会話のミニテスト	test

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への取り組み態度、会話のミニテスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver.Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII K

11137

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の続きをします。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習	L.22, P.62-63
2	habitudes	L.23, P.64-65, L.24., P.66-67
3	week-end, repos, vacances(リスニング), 会話のミニテスト	P.68-69
4	temps libre	L.26, P.70-71, L.27., P.72-73
5	activites	L.28, P.74-75, L.29., P.76-77
6	リスニング	L.30, P.78-79, P.80
7	activites, loisirs, リスニング、会話のミニテスト	P.81
8	matieres preferees	L.32, P.82-83, L.33, P.84-85
9	etudes, リスニング	L.34, P.86-87, L.35, P.88
10	リスニング, 会話のミニテスト	P.89
11	ville ou campagne	L.36, P.90-91, L.37, P.92-93
12	Vous connaissez Lille?	L.38, P.94-95, L.39, P.96-97
13	cadre de vie, リスニング, 会話のミニテスト	P.98-99
14	s'en servir	L.41, P.100-101, L.42, P.102-103
15	リスニング	L.43, P.104-105, P.106

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への取り組み態度、ミニテスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver. Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII KK

17135

担当者名 / Instructor LAVELLE MARIE-CLAIRE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の続きをします。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習	L.22, P.62-63
2	habitudes	L.23, P.64-65, L.24., P.66-67
3	week-end, repos, vacances(リスニング), 会話のミニテスト	P.68-69
4	temps libre	L.26, P.70-71, L.27., P.72-73
5	activites	L.28, P.74-75, L.29., P.76-77
6	リスニング	L.30, P.78-79, P.80
7	activites, loisirs, リスニング、会話のミニテスト	P.81
8	matieres preferees	L.32, P.82-83, L.33, P.84-85
9	etudes, リスニング	L.34, P.86-87, L.35, P.88
10	リスニング, 会話のミニテスト	P.89
11	ville ou campagne	L.36, P.90-91, L.37, P.92-93
12	Vous connaissez Lille?	L.38, P.94-95, L.39, P.96-97
13	cadre de vie, リスニング, 会話のミニテスト	P.98-99
14	s'en servir	L.41, P.100-101, L.42, P.102-103
15	リスニング	L.43, P.104-105, P.106

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席、授業への取り組み態度、ミニテスト

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe, Ver. Avancee, faux-debutants	J-L Azra, B. Vannieu / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解I K

12708

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、仏検3級を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	フランス語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去形 I	
7	複合過去形 II	
8	半過去形	
9	複合過去形と半過去形	
10	大過去形	
11	複合過去と半過去と大過去	
12	単純未来形	
13	前未来形	
14	練習問題	
15	総括講義と試験	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解I KK

17175

担当者名 / Instructor 仲井 秀昭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、仏検3級を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	フランス語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去形 I	
7	複合過去形 II	
8	半過去形	
9	複合過去形と半過去形	
10	大過去形	
11	複合過去と半過去と大過去	
12	単純未来形	
13	前未来形	
14	練習問題	
15	総括講義と試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解Ⅱ K

11790

担当者名 / Instructor 松尾 剛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

- 1) 文法事項を復習しながら、やや難度の高いフランス語の文章を読むことで、フランス語読解能力の基本を身につけます。
- 2) 現代フランスをめぐる文章を読むことで、フランス社会に対する理解を深めてもらいたいと考えています。
- 3) 文法事項としては、接続法・条件法・ジェロンディフまで復習した後、最終的には単純過去を学習したいと考えています。
- 4) 学習事項の定着をはかるため、毎週小テストを実施します。
- 5) 教科書を終了した後は、さらに難度の高い「生きた」フランス語にチャレンジします。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1) 辞書を引きながら、やや高度なフランス語の文章を読むことができる。
- 2) フランス文法の全体像を把握できる。
- 3) 現代フランス社会に関する問題を理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

「フランス語中級表現読解Ⅰ」を受講していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	イントロダクションとフランス語実力診断	基本文法、基本語彙、発音
2	フランスのオタク	etre動詞、形容詞
3	ルイ・ヴィトンとコンゴロマリット	冠詞、指示形容詞、avoir
4	スポーツ	er動詞、疑問文、否定文
5	移民	冠詞の縮約、所有形容詞
6	フレンチ・ポップ	目的補語人称代名詞、命令形
7	PACS法	直説法複合過去
8	フランス映画	疑問代名詞、疑問副詞、疑問形容詞
9	共和主義か、多文化主義か？	受動態、代名動詞、非人称構文
10	バカロレア	直説法半過去・大過去、中性代名詞
11	仕事と余暇	関係代名詞、序数詞
12	料理	単純未来、比較級・最上級
13	フランコフォニー	条件法、接続法、ジェロンディフ
14	フランスと日本	単純過去
15	「生きた」フランス語を読む	フランス子ども新聞

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

- 1) 自宅での予習・復習を欠かさないようにしてください。
- 2) 自宅での勉強には、紙の辞書を使ってください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。
学習事項の定着をはかるため、毎回小テストを実施し、評価に組み込みます。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

最初の数回は簡単な文法事項の復習ですので退屈に感じるかもしれません。しかし、すぐに高度な文法事項の学習に突入しますので、心配は無用です。フランス語が好きな人、フランス社会に興味がある人、あるいはフランス語が得意になりたい人の受講を歓迎します。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
France Multicolore	福島祥行／青山社／9784-88179-139-4／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「KSMホームページ」(<http://www.ksm.fr/>)フランス・ニュースが、日本語で読むことが出来ます。とくに「今日のフランス」コーナーは、現在のフランスをリアルタイムに知ることが出来て、大変面白いものになっています。

「ル・モンド・ディプロマティーク日本語版」(<http://www.diplo.jp/>)フランスが誇る国際情報誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。現代世界の抱える諸問題について、思いもかけない視点から考えてみる良い機会です。フランスの視点は、日本はもちろん、アメリカともまったく異なります。「欧米」とひとくくりにすることが以下に無意味なことか、このHPを読むとよくわかります。

その他 / Others

語学を学ぶ上で、会話能力はもちろん大切です。しかし、ネット社会が地球規模で発達する今日、読む力を軽視すべきではないでしょう。ネットショッピングも、フランスの新聞報道も、フランス人のブログ閲覧も、読む力なしには不可能です。そんな新しい社会に対応した語学力を身に付けることができるように、明るく楽しく頑張りましょう。

フランス語中級表現読解Ⅲ K

12773

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解Ⅲ Kを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総復習Ⅰ	
2	総復習Ⅱ	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	フランス語の受動表現	
8	補語人称代名詞	
9	中性代名詞	
10	条件法現在形	
11	条件法過去形	
12	現在分詞とジェロンディフ	
13	接続法現在形	
14	接続法過去形	
15	総括講義と試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解Ⅲ KK

17189

担当者名 / Instructor 仲井 秀昭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解Ⅲを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総復習Ⅰ	
2	総復習Ⅱ	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	フランス語の受動表現	
8	補語人称代名詞	
9	中性代名詞	
10	条件法現在形	
11	11 条件法過去形	
12	12 現在分詞とジェロンディフ	
13	接続法現在形	
14	接続法過去形	
15	総括講義と試験	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	80 %	
平常点(日常的)	20 %	
三分の二以上の出席が不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語中級表現読解IV K

10623

担当者名 / Instructor 入江 宏和

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

* 既習者対象: この授業はフランス語学習経験者を対象としています。すでに得られた語学力をより確実なものとする中で、総合的なフランス語力の向上を目指します。具体的には、文法事項の基礎を再確認しつつ、語彙力とリスニング力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

初歩的な日常フランス語力をほぼ完全に読み、書き、理解することを目標とします。語彙力としては約500語の習得と運用を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業概要	名詞
2	冠詞(不定冠詞、定冠詞、部分冠詞)	
3	指示形容詞、所有形容詞	数字
4	動詞	-er動詞、不規則動詞の直説法現在形
5	-ir動詞、不規則動詞の直説法現在形	
6	その他の不規則動詞の直説法現在形	
7	形容詞、前置詞	聞き取り問題
8	平常分、否定文、命令文	
9	疑問文	非人称構文、比較構文
10	形容詞と副詞の位置、前置詞の用法	
11	よく用いられる慣用表現	
12	疑問詞を用いない疑問文	
13	疑問詞を用いる疑問文	
14		会話文
15	前期学習事項の確認	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	40 %	前期の学習事項を筆記試験によって評価します。
平常点(日常的)	60 %	定刻出席、練習問題、小テスト、など平常の授業への参加を評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ニヴォー・サンク	富田正二／駿河台出版社／4-411-00819-X／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ケータイ＜万能＞フランス語文法	久松健一／駿河台出版社／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

インターネット上のフランス語学習サイト、多数あるので自分にあったものを探してみましょう

その他 / Others

フランス語中級表現読解V K

10651

担当者名 / Instructor 入江 宏和

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

* フランス語既習者対象: この授業はすでにある程度のフランス語力を身につけ、語学力のさらなる向上を目指す方のための授業です。初学者が躓きがちな文法事項を再確認すると共に、さらに高度な文法事項を学習し、語彙力とリスニング力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な日常フランス語をほぼ完全に読み、書き、理解することを目指します。語彙力の目安としては、約800語の習得を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	冠詞	不定冠詞、部分冠詞、定冠詞
2	動詞の活用	直説法現在形
3	動詞の活用	命令法、直説法複合過去
4	動詞の活用	直説法単純未来形
5	動詞の活用	直説法半過去、ジェロンディフ
6	代名詞	目的語人称代名詞
7	代名詞	再帰代名詞、指示代名詞、中性代名詞
8	単語配列	否定文、目的語代名詞の語順
9	単語配列	受動態、非人称構文、関係代名詞
10	単語配列	強調構文、比較構文
11	前置詞	場所、方位、時、位置
12	応答問題	計画、状態、状況、情報
13	会話文	数字、単文の聞き取り
14	進度に応じて	
15	後期学習事項の到達度確認	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	40 %	後期の学習事項を筆記試験によって評価します。
平常点(日常的)	60 %	定刻出席、練習問題、小テストなど平常の授業への参加を評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ニヴォー・カトル	富田正二／駿河台出版社／978-4-411-00821-3／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ケータイ＜万能＞フランス語文法	久松健一／駿河台出版社／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

インターネット上にはフランス語学習サイトが沢山あります。自分にあつてものを探してみましょう。

その他 / Others

中国語上級コミュニケーションI K

11022

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

自分のこと、考えについての口頭での発信力を高めていく授業です。与えたテーマについてのモデル文を学習し、それを真似て自分のことや考えを発信する。

到達目標 / Attainment Objectives

一問一答な会話だけではなく、まとまった表現で自分の考えを口頭で発信できることを目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

発音の指導が不要、基本的な文構造について理解でき、勉学の意欲のある中国語既習者

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	授業の概要と導入	
2回目	自己紹介	
3回目	私の一日	
4回目	故郷の紹介	
5回目	復習1	
6回目	私の趣味	
7回目	私の家	
8回目	私の大学生生活	
9回目	復習2	
10回目	有意義な旅行	
11-12回目	日本の学生について	
13-14回目	私の夢	
15回目	検証テスト+解説	
(進行状況によって、進度を調整することがあります。)		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回の授業を受けるために、テーマについての作文など必要になります。課外学習の必要時間の目安は一時間ぐらいです。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	出席状況・発表のできばえ・授業中の積極性
出席重視クラスのため、三分の二以上の出席は単位認定必須条件としています。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験の受験をお勧めします。学習意欲を高めるために何かをしましょう。

教科書 / Textbooks

プリント教材

参考書 / Reference Books

辞書を各自で用意すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語上級表現読解I K

11519

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語の読解力の向上を目指す授業です。2007年の出来事を中国語の文章を通して読んでいくとともに、中国語の表現を習得し、更に中国への理解を深めてほしいです。

授業では予習した各課の発表をベースとし、本文の音読の練習やチェック、単語の書き取りテストも行う。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書があれば、中国語による複雑な文章、たとえ新聞の記事でもらくらく読める読解力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語を二年間以上学習したごなたでも、歓迎します。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	授業の概要と導入	中国のイメージを話す
2回目	氷を融かす旅	
3回目	世界最長—杭州湾海上大橋	
4回目	復習	
5回目	“ブタ年”考	
6回目	北京五輪、カウントダウン開始！	
7回目	故宮とスターバックス	
8回目	復習	
9回目	政府に“ノー”を	
10回目	スローガンの変遷	
11回目	大都市ごぼれ話	
12回目	復習	
13回目	外国人のみた中国	
14回目	中国理解について 発表会	
15回目	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

履修者の予習が欠かさない授業ですので、課外では一時間以上の勉強が必要になります。また内容について理解し、自分の見解を述べるようにも準備しておきましょう。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	

出席重視の授業ですので、毎回の出席を目指してください。予習などの課題の完成、レポートの提出も評価の重点になります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

一回目の授業に来るまで、中国に対するイメージを整理してください。

中国語勉強の意欲を高めるため、中国語検定試験などの資格の習得も考えて挑戦することをお勧めします。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
セレクト10時事中国語2008	三猪 正道 他／朝日出版社／978-4-255-45156-5／

中国語の辞書が必要です。持っていない方には1回目の授業に説明します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会<http://www.chuken.gr.jp/>

その他 / Others

中国語上級表現読解Ⅱ K

12525

担当者名 / Instructor 張 恒悦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国現代社会について、さまざまな角度から読んでいく。主に読解力の向上を目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書を使って、比較的複雑な文章を読めるような読解力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション	自己紹介
2	中国の概況	
3	文字の話	
4	姓名の話	
5	親族呼称	
6	日常生活	
7	挨拶のいろいろ	
8	中間復習	
9	人情について	
10	思考方法	
11	家庭教育	
12	恋愛結婚	
13	タバコ、酒、お茶	
14	総復習	
15	試験・まとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

主体性ある取り組みを求める。予習、復習は必ずするようにしましょう。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	30 %	
平常点(日常的)	70 %	
5回以上欠席すると評価対象外となる。出欠、授業態度、試験で評価します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新中国事情	李鴻谷 / 好文出版 / 4-87220-035-7 /
中日辞書を各自持参すること	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI K

11099

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業が会話能力の向上を目標としています。初級の内容を土台として実際に役立つ伝達力、理解力などのコミュニケーション能力を中心にアップさせていきます。他に文章理解、聞く、書くことにも配慮しています。

到達目標 / Attainment Objectives

実際に中国に行った場合に遭遇した場面での会話力を身につけてほしいです。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

二年間以上の中国語学習経験のある方

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	授業の概要と導入	
2-3回目	空港 本文の学習	会話発表と練習問題
4-5回目	両替 本文の学習	会話発表と練習問題
6-7回目	道を尋ねる 本文の学習	会話発表と練習問題
8-9回目	車に乗る 本文の学習	会話発表と練習問題
10-11回目	値切る 本文の学習	会話発表と練習問題
12-13回目	紹介 本文の学習	会話発表と練習問題
14回目	食べる 本文の学習	会話発表と練習問題
15回目	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

展開用の会話文の作成や一課ごとに本文や単語の書き取りテストがあるため、予習、復習を必ずすること。毎回の授業のため、課外学習の目安は一時間ぐらい必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	

出席重視のクラスです。毎回の出席を目指してください。三分の二以上の出席は単位認定必須条件となります。授業での学習態度は重要視されますので、積極的に参加してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。勉強の意欲を高めるためと考えてください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アップグレード中国語 ～小林の上海留学記	陸 偉榮 ほか／金星堂／978-4-7647-0675-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会のHP
立命館孔子学院のHP

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI KK

17132

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業が会話能力の向上を目標としています。初級の内容を土台として実際に役立つ伝達力、理解力などのコミュニケーション能力を中心にアップさせていきます。他に文章理解、聞く、書くことにも配慮しています。

到達目標 / Attainment Objectives

実際に中国に行った場合に遭遇した場面での会話力を身につけてほしいです。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

二年間以上の中国語学習経験のある方

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	授業の概要と導入	
2-3回目	空港 本文の学習	会話発表と練習問題
4-5回目	両替 本文の学習	会話発表と練習問題
6-7回目	道を尋ねる 本文の学習	会話発表と練習問題
8-9回目	車に乗る 本文の学習	会話発表と練習問題
10-11回目	値切る 本文の学習	会話発表と練習問題
12-13回目	紹介 本文の学習	会話発表と練習問題
14回目	食べる 本文の学習	会話発表と練習問題
15回目	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

展開用の会話文の作成や一課ごとに本文や単語の書き取りテストがあるため、予習、復習を必ずすること。毎回の授業のため、課外学習の目安は一時間ぐらいが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	

出席重視のクラスです。毎回の出席を目指してください。三分の二以上の出席は単位認定必須条件となります。授業での学習態度は重要視されますので、積極的に参加してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。勉強の意欲を高めるためと考えてください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アップグレード中国語 ～小林の上海留学記	陸 偉榮 ほか／金星堂／978-4-7647-0675-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会のHP
立命館孔子学院のHP

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションⅡ K

11134

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期中級コミュニケーションⅠの引き続きです。この授業が会話能力の向上を目標としています。初級の内容を土台として実際に役立つ伝達力、理解力などのコミュニケーション能力を中心にアップさせていきます。他に文章理解、聞く、書くことにも配慮しています。

到達目標 / Attainment Objectives

実際に中国に行った場合に遭遇した場面での会話力を身につけてほしいです

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

二年間以上の中国語学習経験のある方。前期のⅠを履修した方は望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2回目	病院 本文学習	会話発表と練習問題
3-4回目	電話をかける 本文学習	会話発表と練習問題
5-6回目	計画 本文学習	会話発表と練習問題
7-8回目	本屋で 本文学習	会話発表と練習問題
9-10回目	郵便局で 本文学習	会話発表と練習問題
11-12回目	パーティー 本文学習	会話発表と練習問題
13-14回目	手紙を書く 本文学習	会話発表と練習問題
15回目	検定テスト+解説	
(進行状況に応じて、進度の調整を行うこともあります。)		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

展開用の会話文の作成や一課ごとに本文や単語の書き取りテストがあるため、予習、復習を必ずすること。毎回の授業のため、課外学習の目安は一時間ぐらい必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	

出席重視のクラスです。毎回の出席を目指してください。三分の二以上の出席は単位認定必須条件となります。授業での学習態度は重要視されますので、積極的に参加してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。勉強の意欲を高めるためと考えてください

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アップグレード中国語 ～小林の上海留学記	陸 偉榮 ほか／金星堂／978-4-7647-0675-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会のHP
立命館孔子学院のHP

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションII KK

17133

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期中級コミュニケーション I の引き続きです。この授業が会話能力の向上を目標としています。初級の内容を土台として実際に役立つ伝達力、理解力などのコミュニケーション能力を中心にアップさせていきます。他に文章理解、聞く、書くことにも配慮しています。

到達目標 / Attainment Objectives

実際に中国に行った場合に遭遇した場面での会話力を身につけてほしいです

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

二年間以上の中国語学習経験のある方。前期の I を履修した方は望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-2回目	病院 本文学習	会話発表と練習問題
3-4回目	電話をかける 本文学習	会話発表と練習問題
5-6回目	計画 本文学習	会話発表と練習問題
7-8回目	本屋で 本文学習	会話発表と練習問題
9-10回目	郵便局で 本文学習	会話発表と練習問題
11-12回目	パーティー 本文学習	会話発表と練習問題
13-14回目	手紙を書く 本文学習	会話発表と練習問題
15回目	検証テスト+解説	
(進行状況に応じて、進度の調整を行うこともあります。)		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

展開用の会話文の作成や一課ごとに本文や単語の書き取りテストがあるため、予習、復習を必ずすること。毎回の授業のため、課外学習の目安は一時間ぐらい必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	

出席重視のクラスです。毎回の出席を目指してください。三分の二以上の出席は単位認定必須条件となります。授業での学習態度は重要視されますので、積極的に参加してください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。勉強の意欲を高めるためと考えてください

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
アップグレード中国語 ～小林の上海留学記	陸 偉榮 ほか／金星堂／978-4-7647-0675-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語検定協会のHP
立命館孔子学院のHP

その他 / Others

中国語中級表現読解I K

12682

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも用い、ヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。自宅学習用として文法書をサブテキストとし、何度か小テストを実施し確認する。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の概要と導入(授業プリント配布・授業内容説明等)	
第2回～4回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第5回～8回	最新の新聞を読む	
第9回～13回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	確認テストおよびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

サブテキストは授業では使用しない。各自、自宅で学習すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	確認テスト
平常点(日常的)	40 %	小テストの平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受けたい学生は、練習問題等を提出すれば個人的に添削に応じるので、各学生は主体的に学習に取り組んで欲しい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語ははじめの一歩	木村英樹／ちくま書房／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解Ⅱ K

11769

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学入学前に2年間程度、入学後に半年間、中国語を学んだ学生を対象とする。従って一定程度は中国語の運用能力、中国語に関する知識は身につけていると思われるが、克服されねばならない課題も多い。この授業では日本人であるが故の誤った思いこみや、理解しにくい重点問題を取り上げ、正しい理解をうながす。毎回プリント教材を準備して、文例に沿って実践的に学習することとする。また、パソコンを使って情報を発信し、収集する技能についても習得をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語検定試験3級レベルの能力をめざすとともに、積極的にチャレンジすることを奨励したい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	発音とローマ字表記	
第2回	漢字の日中対照(1)	
第3回	単語の日中対照(1)	
第4回	単語の日中対照(2)	
第5回	中国語の語構成(1)	
第6回	中国語の語構成(2)	
第7回	中国語の語構成(3)	
第8回	中国語の文法(1)	
第9回	中国語の文法(2)	
第10回	中国語の文法(3)	
第11回	中国語をダウンロードする	
第12回	中国語のフォントを使う	
第13回	ピンイン表記に改める	
第14回	問題点を捜す	
第15回	問題点の解決への道筋	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	
平常点(日常的)	40 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回テーマに沿ったプリントを準備する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解Ⅲ K

12757

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。ビデオも使用しヒアリング力を育てる。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。サブテキストの文法書は自宅学習用として、その確認のため何度か小テストを実施する。中国語学習を通して、中国事情の理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけて欲しい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業の	
第2回～5回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第6回～9回	最新の新聞を読む	
第10回～13回	ビデオ鑑賞とシナリオ講読	
第14回	漢詩または歌の暗誦テスト	
第15回	確認テストおよびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

文法書をサブ・テキストとし、自宅学習用とする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	筆記テスト
平常点(日常的)	40 %	小テスト平均(20点)・漢詩または歌の暗誦(20点)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は、練習問題を提出すれば添削に応じる。各自、積極的に勉強に取り組んで欲しい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブ・テキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語ははじめの一歩	木村英樹／ちくま書房／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語中級表現読解Ⅳ K

10607

担当者名 / Instructor 中村 俊弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで勉強してきた中国語をベースに、より上を目指すために聴く、話す、書く、読むの各方面からアプローチしていきます。大きな声が出せない人、覚えることが苦手な人、消極的な人には向きません。本当に中国語がうまくなりたいと思っている人の受講を期待します。また、今年はオリンピックもあるのでオリンピック関連の話題や実際に中国のレストランのメニューを使っの会話練習なども行う予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・正しい発音を習得する。
- ・簡単な中国語が口からとっさに出るようにする。
- ・整理されていない文法知識を整理し、確実に理解する。
- ・基礎的な語彙を確実に活用できるようにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンスと実力診断	1年間の授業の進め方、評価方法の説明／実力の再確認
第2回	第1課 在飛機上(1)	機内での会話／機内放送の読解と聞き取り／現代三字経1～10／“主語＋是＋目的語”と存在の“有”・“在”
第3回	第1課 在飛機上(2)	語法／練習／現代三字経11～20／“主語＋動詞＋目的語”と事物・様子を形容する文
第4回	第2課 機場迎接(1)	空港での会話／リニアモーターカー関連の読解／現代三字経21～30／可能を表す助動詞
第5回	第2課 機場迎接(2)	語法／練習／現代三字経31～40／願望・必要・当然を表す助動詞を使った文
第6回	第3課 去銀行(1)	両替に関する会話／銀行に関する読解／現代三字経41～50／副詞の使い方
第7回	第3課 去銀行(2)	語法／練習／現代三字経51～60／経験を表す文と動作の回数を表す語
第8回	中国語情報処理	中国語の入力方法／中国語サイトの閲覧方法
第9回	第4課 住宿(1)	ホテルのフロントでの会話／ホテルに関する読解／現代三字経61～70／動詞直後の“了”
第10回	第4課 住宿(2)	語法／練習／現代三字経71～80／文末の“了”
第11回	第5課 在教室(1)	教室での会話／学習に関する読解／現代三字経81～90／介詞構造の使い方
第12回	第5課 在教室(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経91～100／二重目的語をとる動詞
第13回	第6課 吃飯(1)	レストランでの会話／食生活に関する読解／現代三字経101～110／進行形の表し方
第14回	第6課 吃飯(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経111～120／近い未来の表し方
第15回	期末テスト	第1回～第14回の内容の期末テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	60 %	最終講義試験です。筆記、聞き取りを中心としたテストですが、発音や会話のテストも同時に行う予定をしています。
平常点(日常的)	40 %	出席はもちろんですが、口頭での毎回の復習、授業に出るに当たっての準備、授業中の積極性などを評価します。
テストの出題傾向や詳しい概要についてはテスト前に説明します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中国語をアウトプットしようと思えば、インプットしなければなりません。ですから覚えることが多くなります。積極的に覚えるという姿勢が大切で、受け身では覚えられません。機会があれば授業で覚えた中国語を実際に中国で使ってみればモチベーションもアップするでしょう。

教科書 / Textbooks書名 / Title

上海びより

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

石慧敏／金子真也／好文出版／ISBN4872200918／上海を舞台に今すぐ使える表現がふんだんに使われているテキスト。

参考書 / Reference Books書名 / Title

白水社中国語辞典

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

伊地智善継／白水社／ISBN9784560000823／説明が詳しく、単語の具体的な使い方を説明している。

東方中国語辞典

相原茂／荒川清秀／大川完三郎／東方書店／ISBN4497203123／コラムが豊富で、同義語の説明や小日中辞典も便利。

中国語をはじめてからていねいに

林怡州／東進ブックス／ISBN9784890853380／基礎段階必修の文法事項をわかりやすく説明している。

「感謝」と「謝罪」はじめて聞く日中“異文化”の話

相原茂／講談社／ISBN9784062141758／語学の専門家が書いた中国人を理解するための一冊。

辞書(電子辞書可)は必ず授業に持参すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.searchchina.ne.jp/>(中国情報局・日本語)

<http://www.shanghai.gov.cn/>(上海市政府・中国語)

<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/chinese/index.html>(NHK中国語ニュース)

その他 / Others

中国語・中国関係の不定期刊行メールマガジン「羅布泊」の配信を希望する人はluobupo@hcn.zaq.ne.jpまで、空メールを送ってください。

中国語中級表現読解Ⅳ KK

17174

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまで勉強してきた中国語をベースに、より上を目指すために聴く、話す、書く、読むの各方面からアプローチしていきます。大きな声が出せない人、覚えることが苦手な人、消極的な人には向きません。本当に中国語がうまくなりたいと思っている人の受講を期待します。また、今年はオリンピックもあるのでオリンピック関連の話題や実際に中国のレストランのメニューを使っの会話練習なども行う予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

- ・正しい発音を習得する。
- ・簡単な中国語が口からとっさに出るようにする。
- ・整理されていない文法知識を整理し、確実に理解する。
- ・基礎的な語彙を確実に活用できるようにする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	ガイダンスと実力診断	1年間の授業の進め方、評価方法の説明／実力の再確認
第2回	第1課 在飛機上(1)	機内での会話／機内放送の読解と聞き取り／現代三字経1～10／“主語＋是＋目的語”と存在の“有”・“在
第3回	第1課 在飛機上(2)	語法／練習／現代三字経11～20／“主語＋動詞＋目的語”と事物・様子を形容する文
第4回	第2課 機場迎接(1)	空港での会話／リニアモーターカー関連の読解／現代三字経21～30／可能を表す助動詞
第5回	第2課 機場迎接(2)	語法／練習／現代三字経31～40／願望・必要・当然を表す助動詞を使った文
第6回	第3課 去銀行(1)	両替に関する会話／銀行に関する読解／現代三字経41～50／副詞の使い方
第7回	第3課 去銀行(2)	語法／練習／現代三字経51～60／経験を表す文と動作の回数を表す語
第8回	中国語情報処理	中国語の入力方法／中国語サイトの閲覧方法
第9回	第4課 住宿(1)	ホテルのフロントでの会話／ホテルに関する読解／現代三字経61～70／動詞直後の“了”
第10回	第4課 住宿(2)	語法／練習／現代三字経71～80／文末の“了”
第11回	第5課 在教室(1)	教室での会話／学習に関する読解／現代三字経81～90／介詞構造の使い方
第12回	第5課 在教室(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経91～100／二重目的語をとる動詞
第13回	第6課 吃飯(1)	レストランでの会話／食生活に関する読解／現代三字経101～110／進行形の表し方
第14回	第6課 吃飯(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経111～120／近い未来の表し方
第15回	期末テスト	第1回～第14回の内容の期末テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検定テスト)	60 %	最終講義試験です。筆記、聞き取りを中心としたテストですが、発音や会話のテストも同時に行う予定をしています。
平常点(日常的)	40 %	出席はもちろんですが、口頭での毎回の復習、授業に出るに当たっての準備、授業中の積極性などを評価します。
テストの出題傾向や詳しい概要についてはテスト前に説明します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中国語をアウトプットしようと思えば、インプットしなければなりません。ですから覚えることが多くなります。積極的に覚えるという姿勢が大切で、受け身では覚えられません。機会があれば授業で覚えた中国語を実際に中国で使ってみればモチベーションもアップするでしょう。

教科書 / Textbooks書名 / Title

上海びより

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

石慧敏／金子真也／好文出版／ ISBN4872200918／8 上海を舞台に今すぐ使える表現がふんだんに使われているテキスト。

参考書 / Reference Books書名 / Title

白水社中国語辞典

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

伊地智善継／白水社／ISBN9784560000823／説明が詳しく、単語の具体的な使い方を説明している。

東方中国語辞典

相原茂／荒川清秀／大川完三郎／東方書店／ISBN4497203123／コラムが豊富で、同義語の説明や小日中辞典も便利。

中国語をはじめてからていねいに

林怡州／東進ブックス／ISBN9784890853380／基礎段階必修の文法事項をわかりやすく説明している。

「感謝」と「謝罪」はじめて聞く日中“異文化”の話

相原茂／講談社／ ISBN9784062141758／語学の専門家が書いた中国人を理解するための一冊。

辞書(電子辞書可)は必ず授業に持参すること。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.searchchina.ne.jp/>(中国情報局・日本語)

<http://www.shanghai.gov.cn/>(上海市政府・中国語)

<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/chinese/index.html>(NHK中国語ニュース)

その他 / Others

中国語中級表現読解V K

10634

担当者名 / Instructor 中村 俊弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語中級表現読解VKと同じです。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語中級表現読解VKと同じです。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第7課 上街問路(1)	道を尋ねる会話／バスの車内放送の読解と聞き取り／現代三字経121～130／状態の持続の表し方
第2回	第7課 上街問路(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経131～140／過去の時間・場所・方法などを強調する文
第3回	第8課 買東西(1)	お店での会話／上海の商店についての読解／現代三字経141～150／動作などの程度や評価の表し方
第4回	第8課 買東西(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経151～160／比較や差の表し方
第5回	第9課 去豫園(1)	観光地へ行く会話／豫園についての読解／現代三字経161～170／動作の結果の表し方
第6回	第9課 去豫園(2)	語法／練習／現代三字経171～180／動作の方向の表し方
第7回	第10課 愛好(1)	趣味に関する会話／趣味に関する読解／現代三字経181～190／助動詞以外の可能の表し方
第8回	第10課 愛好(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経191～200／動作や処置の表し方
第9回	第11課 游周庄(1)	観光地での会話／周庄に関する読解／現代三字経201～210／存在や出現・消失の表し方
第10回	第11課 游周庄(2)	語法／練習／情景会話／現代三字経211～220／使役の表し方
第11回	第12課 打的(1)	タクシーでの会話／タクシーに関する読解／現代三字経221～230／受け身の表し方
第12回	第12課 打的(2)	語法／練習／現代三字経231～240／因果関係・逆接関係を表す構文
第13回	第13課 看医生(1)	病院での会話／病気に関する読解／現代三字経241～250／条件関係・仮定関係を表す
第14回	第13課 看医生(2)	語法／練習／現代三字経251～260／譲歩関係・取捨関係を表す構文
第15回	期末テスト	第1回～第14回の内容の期末テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	最終講義試験です。筆記、聞き取りを中心としたテストですが、発音や会話のテストも同時に行う予定をしています。
平常点(日常的)	40 %	出席はもちろんですが、口頭での毎回の復習、授業に出るに当たっての準備、授業中の積極性などを評価します。
テストの出題傾向や詳しい概要についてはテスト前に説明します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中国語中級表現読解VKと同じです。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
上海びより	石慧敏／金子真也／好文出版／ISBN4872200918／上海を舞台に今すぐ使える表現

がふんだんに使われているテキスト。

参考書 / Reference Books

書名 / Title

白水社中国語辞典

東方中国語辞典

中国語をはじめてからていねいに

「感謝」と「謝罪」はじめて聞く日中“異文化”の話

辞書(電子辞書可)は必ず授業に持参すること。

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

伊地智善継／白水社／ISBN9784560000823／説明が詳しく、単語の具体的な使い方を説明している。

相原茂／荒川清秀／大川完三郎／東方書店／ISBN4497203123／コラムが豊富で、同義語の説明や小日中辞典も便利。

林怡州／東進ブックス／ISBN9784890853380／基礎段階必修の文法事項をわかりやすく説明している。

相原茂／講談社／ISBN9784062141758／語学の専門家が書いた中国人を理解するための一冊。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

中国語中級表現読解VKと同じです。

その他 / Others

中国語中級表現読解VKと同じです。

スペイン語と社会I(単位回復) Z1

12290

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語圏(スペイン、ラテンアメリカ)諸国の社会を、項目別に学び、それらの国々についての基礎的知識を身につけることを目標とする。そのためにビデオ、DVDなども活用する。また、基本的なスペイン語表現も併せて学習する。その際、学期を通して計3回(5回の授業に1回)程度、スペイン語の小テストを行う。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	ガイダンス (スペイン語と社会)	
	スペインとは —そのイメージ—	
	ラテンアメリカのスペイン語圏	
	スペインの歴史概説	
	ラテンアメリカの歴史概説	
	スペインの政治	
	ラテンアメリカの政治	
	スペインの食文化	
	ラテンアメリカの食文化	
	スペインの音楽	
	ラテンアメリカの音楽	
	スペインのスポーツ —サッカーなど—	
	ラテンアメリカのスポーツ —サッカーなど—	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	1)小テスト 2)レポート 3)授業への積極的な参加

小テストに加えて、スペイン語圏の社会や文化に関するレポートを作成する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プリント	／／／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン・ポルトガルを知る事典	池上岑夫、他監修／平凡社／4582126324／
概説ラテンアメリカ史	国本伊代／新評論／479480511X／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語と社会Ⅱ(単位回復) Z1

12296

担当者名 / Instructor 安田 圭史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語圏(スペイン、ラテンアメリカ)諸国の社会を、項目別に学び、それらの国々についての基礎的知識を身につけることを目標とする。そのためにビデオ、DVDなども活用する。また、基本的なスペイン語表現も併せて学習する。その際、学期を通して計3回(5回の授業に1回)程度、スペイン語の小テストを行う。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語圏に関する基礎的知識、スペイン語の基本的表現の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	ガイダンス(スペイン語と社会)	
	スペインの世界遺産	
	ラテンアメリカの世界遺産	
	スペインの民俗 —祭りなど—	
	ラテンアメリカの民俗 —祭りなど—	
	スペインの映画	
	ラテンアメリカの映画	
	スペインの情報メディア —テレビ、新聞など—	
	ラテンアメリカの情報メディア —テレビ、新聞など—	
	スペインの芸術 —文学、美術など—	
	ラテンアメリカの芸術 —文学、美術など—	
	スペインの現代事情 —経済など—	
	ラテンアメリカの現代事情 —経済など—	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	1)小テスト 2)レポート 3)授業への積極的な参加

小テストに加えて、スペイン語圏の社会や文化に関するレポートを作成する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
プリント	／／／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン・ポルトガルを知る事典	池上岑夫、他監修／平凡社／4582126324／
概説ラテンアメリカ史	国本伊代／新評論／479480511X／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

スペイン語と文化I(単位回復) Z1

11152

担当者名 / Instructor 平井 うらら

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ビデオ、DVDの鑑賞を通じて、多様なスペイン文化を紹介する。また、スペイン語の基礎文法を習得することを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

易しいスペイン語の読み書きができるようになること。
 スペイン文化についての理解を深めること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	スペインの歴史 1	簡単な挨拶表現 I
	スペインの歴史 2	簡単な挨拶表現 II
	スペインの文学 1	スペイン語の動詞 I
	スペインの文学 2	スペイン語の動詞 II
	スペインの文学 3	スペイン語の動詞 III
	スペインの芸術 ～音楽と踊り～	場所の尋ね方
	スペインの芸術 ～造形と美術～	時間の表現
	スペインの芸術 ～建築～	現在完了
	スペインの人々～宗教と習慣～	過去形 I
	スペインの人々～宗教と習慣～	過去形 II
	スペインの人々～宗教と習慣～	未来形

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。
 初回にガイダンスを行うが、初回からテーマの講義に入り、全15回の授業回数を予定している。
 テーマによっては授業が複数回になることがある。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	
* 日常点		
1) 小テスト		
2) レポート		
3) 授業への積極的な参加		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

特定のテキストは使用しない。毎回、コピー、レジュメを配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
 DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>
 スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

スペイン語と文化Ⅱ(単位回復) Z1

11163

担当者名 / Instructor 平井 うらら

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ビデオ、DVDの鑑賞を通じて、多様なスペイン文化を紹介する。また、スペイン語の基礎文法を習得することを目標とする。

到達目標 / Attainment Objectives

易しいスペイン語の読み書きができるようになること。
 スペイン文化についての理解を深めること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	スペイン、その歴史と社会について	簡単な挨拶表現 I
	スペイン語、言葉と習慣について	簡単な挨拶表現 II
	スペインの食べ物について	スペイン語の動詞 I
	スペインの宗教と祭りについて	スペイン語の動詞 II
	スペインのスポーツについて	スペイン語の動詞 III
	スペインの映画について	場所の尋ね方
	スペインの映画について	時間の表現
	スペインの音楽と舞踊について	現在完了
	スペインの娯楽について	過去形 I
	スペインの文学について 1	過去形 II
	スペインの文学について 2	未来形

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

予習、復習を確実にすること。
 初回にガイダンスを行うが、初回からテーマの講義に入り、全15回の授業回数を予定している。
 テーマによっては授業が複数回になることがある。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	
* 日常点		
1) 小テスト		
2) レポート		
3) 授業への積極的な参加		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

特定のテキストは使用しない。毎回、コピー、レジュメを配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
 DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>
 スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

その他 / Others

ドイツ語と社会I(単位回復) Z1

12289

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツの社会や歴史を紹介する授業です。
授業の前半――文法を説明する学習の時間です。
授業の後半――ニュースや映画などの映像を見る時間です。
中間の休憩時間――ドイツの歌を紹介します。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で22章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1, 2章	
2	3, 4章	
3	5, 6章	
4	7, 8章	
5	9, 10章	
6	11, 12章	
7	13, 14章	
8	15, 16章	
9	17章	
10	18章	
11	19章	
12	20章	
13	21章	
14	21章	
15	検証テストおよびまとめ	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	最終講義で、締めくくりの大きな試験をします。40点満点です。
平常点(日常的)	60 %	覚えておかねばならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6=60点です。 平常点も加味します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ゼロから始めるドイツ語	存間進／三修社／／どんな人でもドイツ語が独習できます

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

ドイツについては、多くのビデオ教材が図書館にありますので、
自分でも見てみてください。

ドイツ語と社会Ⅱ(単位回復) Z1

12295

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツの社会や歴史を紹介する授業です。
授業の前半――文法を説明する学習の時間です。
授業の後半――ニュースや映画などの映像を見る時間です。
中間の休憩時間――ドイツの歌を紹介します。

到達目標 / Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる参考書にしています。
- 2、ドイツの歌を聞いて、覚える。
小テストの一つは、歌を暗誦するという内容です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で20章です。初めの頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1, 2章	
2	3, 4章	
3	5, 6章	
4	7, 8章	
5	9, 10章	
6	11, 12章	
7	13章	
8	14章	
9	15章	
10	16章	
11	17章	
12	18章	
13	19章	
14	20章	
15	検証テストおよびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	最終講義で、締めくくりの大きな試験をします。40点満点です。
平常点(日常的)	60 %	覚えておかねばならない部分について、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。 平常点も加味します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
CDエクスプレス ドイツ語	小塩節／白水社／ドイツ語が自得できる、分かりやすいテキストです。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

図書館にあるドイツ映画やニュース、
時間があったら見てみて下さい。

ドイツ語と文化I(単位回復) Z1

11175

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。異文化理解にはどうしても外国語の習得が必要であり、授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。ただし外国語の習得には言語の背後にある文化や歴史への理解が不可欠であり、適時、ドイツ文化事情を歴史・教育・環境問題等の各分野に分けて紹介する。

到達目標 / Attainment Objectives

1)ドイツ文化を幅広く理解し、説明できる。2)基礎ドイツ語の習得を目指し、ドイツ語検定試験4級に合格できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価等の説明。プリントの配布。
第2回目	人称代名詞。動詞の現在形(1)	規則動詞の説明と練習。親称duと敬称Sieの違いについて。ウムラウトについて。
第3回目	動詞の現在形(2)	不規則動詞の説明と練習。ヨーロッパにおけるドイツの位置。
第4回目	動詞の現在形(3)	規則・不規則動詞の練習。ドイツ国内の地誌。
第5回目	動詞現在形の確認テスト(30分)と解説(20分)。(名詞(1))	名詞の性と格の説明。
第6回目	名詞(2)	名詞1格の練習。ドイツの教育制度。
第7回目	名詞(3)	名詞4格と3格の練習。
第8回目	名詞(4)	名詞3格の復習と2格の練習。ドイツの徴兵制。
第9回目	前置詞	前置詞の格支配の練習。
第10回目	名詞と前置詞の確認テスト(40分)と解説(20分)。複合動詞(1)	複合動詞の説明と練習。
第11回目	複合動詞(2)	複合動詞の説明と練習。ドイツの環境問題。
第12回目	話法の助動詞(1)	話法の助動詞の説明と練習。
第13回目	第2回目から第12回目までの総復習。	長文読解の練習。
第14回目	最終検証テスト(60分)と解説(30分)	
第15回目	最終検証テストの講評、各文法事項の復習。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題のプリントを配布するので、必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった場合、次回の授業で受け取る。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	40 %	ドイツに関するテーマを受講者の関心に基づいてひとつ選び、その関心度の深化と論理的記述の度合いをみる。テーマはドイツに関するものであれば、すべて可。詳細は第1回目の授業で説明する。
平常点(検証テスト)	40 %	授業期間中に学修到達度を最終的に確認する検証テスト(第14回目)を実施する。
平常点(日常的)	20 %	第5回と第10回目の授業で、それまでの授業内容に対する確認テスト実施する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業で数多くの練習問題をこなしていくので、その都度、文法事項の理解と習得を目指すように。
レポート試験の提出に向けて、なるべく早くテーマを選ぶように。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.dw-world.de/>

ドイツの政治・経済・文化等の最新のニュースを常に流している。音声と記事のダウンロードも可。ドイツで今、流行っている音楽も聴ける。映画の紹介もある。

ドイツ語と文化Ⅱ(単位回復) Z1

11190

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を目指す。異文化理解にはどうしても外国語の習得が必要であり、授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。ただし外国語の習得には言語の背後にある文化や歴史への理解が不可欠であり、適時、ドイツ文化事情を歴史・教育・環境問題等の各分野に分けて紹介する。後期は主に、1. ロシアとドイツの強制収容所を生き延びた人物の自伝を『スターリンとヒットラーの軌のもとで』から紹介する。

到達目標 / Attainment Objectives

- (1) 基礎ドイツ語の文法事項を習得する。語彙力の拡大と比較的長いドイツ文の読解力を身につける。
- (2) ドイツ文化を幅広く理解し、説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標等の説明。プリント配布
第2回目	形容詞と副詞(1)	形容詞の用法、形容詞の格変化の解説と練習 30年代のドイツの時代背景1
第3回目	動詞の時称と三基本形	規則動詞・不規則動詞の三基本形の作り方と練習
第4回目	過去形人称変化	複合動詞の三基本形の作り方と練習。過去形の練習 30年代のドイツの時代背景2
第5回目	三基本形と過去形の確認テスト(30分)と解説(20分)。複合動詞	複合動詞の三基本形の復習練習
第6回目	現在完了と過去完了	現在完了形と過去完了形の作り方と練習 ラーヴェンスブリュック強制収容所1
第7回目	現在完了	現在完了形の復習練習(規則動詞・不規則動詞・複合動詞)
第8回目	再帰代名詞と再帰動詞	再帰的表現の練習 ラーヴェンスブリュック強制収容所2
第9回目	接続詞、副文	並列・副詞的・従属接続詞を用いた表現練習。
第10回目	過去形・現在完了形・再帰動詞の確認テスト(30分)と解説(20分)	
第11回目	受動態	動作受動の作り方と練習。状態受動の作り方と練習 解放後の混乱期
第12回目	定関係代名詞と不定関係代名詞	関係代名詞の解説と練習
第13回目	総復習	ロシアとドイツの強制収容所
第14回目	最終検証テスト(60分)と解説(30分)	
第15回目	最終検証テストと講評、各文法事項の復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題のプリントを配布するので、必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった場合、次回の授業で受け取る。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	授業期間中に学修到達度を最終的に確認する検証テスト(第14回目)を実施する。
平常点(日常的)	60 %	第5回と第10回目の授業で、それまでの授業内容に対する確認テスト実施する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業で数多くの練習問題をこなしていくので、その都度、文法事項の理解と習得を目指すように。レポート試験の提出に向けて、なるべく早くテーマを選ぶように。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スターリンとヒットラーの軌のもとで	マルガレーテ・ブーバー＝ノイマン／ミネルヴァ書房／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

<http://www.dw-world.de/>

ドイツの政治・経済・文化等の最新のニュースを常に流している。音声と記事のダウンロードも可。ドイツで今、流行っている音楽も聴ける。映画の紹介もある。

その他 / Others

フランス語と社会I(単位回復) Z1

11812

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎(仏検4級程度)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ 世界のフランス語(ヨーロッパ)	キーワード 名詞の性・数、冠詞、形容詞、所有形容詞、指示形容詞 avoir, être
第2回	テーマ フランスの地理(大西洋)	キーワード 主語人称代名詞、否定文の作り方、疑問文の作り方、数詞 er動詞
第3回	テーマ フランス人の名前(男子)	キーワード 近接未来、近接過去、前置詞と冠詞の縮約、前置詞のいろいろ
第4回	テーマ フランス人とアメリカ(フランス革命とアメリカ独立戦争)	キーワード 疑問詞を使った疑問文、非人称動詞(時間、天候、il y a)
第5回	テーマ 女性の社会進出(第二次大戦前)	キーワード 部分冠詞、中性代名詞(en, y) vouloir, prendre
第6回	テーマ 結婚と家庭(第二次大戦前)	キーワード 補語人称代名詞, connaître, pouvoir, savoir
第7回	テーマ フランス人の労働(労働時間)	キーワード 代名動詞、比較級、最上級
第8回	総括講義と試験(1)	
第9回	テーマ フランスの政治(君主制)	キーワード 単純未来形
第10回	テーマ フランスの農業(ワイン生産)	キーワード 複合過去形
第11回	テーマ フランスの移民問題(植民地と移民)	キーワード 半過去形
第12回	テーマ フランスのエリート(教育制度)	キーワード 複合過去形と半過去形の使い分け
第13回	テーマ フランスと日本(ジャポニズム)	キーワード 関係代名詞(qui, que)
第14回	テーマ フランスとEU(ユーロ)	キーワード 受動態
第15回	総括講義と試験(2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsumei/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と社会Ⅱ(単位回復) Z1

11819

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎(仏検4級程度)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ フランスとEU(多言語主義)	キーワード 名詞の性・数、冠詞、形容詞、所有形容詞、指示形容詞 avoir, être
第2回	テーマ フランスと日本(文化交流)	キーワード 主語人称代名詞、否定文の作り方、疑問文の作り方、数詞 er動詞
第3回	テーマ フランスのエリート(家庭環境)	キーワード 近接未来、近接過去、前置詞と冠詞の縮約、前置詞のいろいろ
第4回	テーマ フランスの移民問題(排斥運動)	キーワード 疑問詞を使った疑問文、非人称動詞(時間、天候、il y a)
第5回	テーマ フランスの農業(チーズ生産)	キーワード 部分冠詞、中性代名詞(en, y) vouloir, prendre
第6回	テーマ フランスの政治(共和制)	キーワード 補語人称代名詞、connaître, pouvoir, savoir
第7回	テーマ フランス人の労働(収入)	キーワード 代名動詞、比較級、最上級
第8回	総括講義と試験(1)	
第9回	テーマ 結婚と家庭(第二次大戦後)	キーワード 複合過去形
第10回	テーマ 女性の社会進出(第二次大戦後)	キーワード 半過去形
第11回	テーマ フランスとアメリカ(反アメリカ主義)	キーワード 複合過去形と半過去形の使い分け
第12回	テーマ フランス人の名前(女子)	キーワード 関係代名詞(qui, que)
第13回	テーマ フランスの地理(地中海)	キーワード 受動態
第14回	テーマ 世界のフランス語(アフリカ・北米)	
第15回	総括講義と試験(2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsumei/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と文化I(単位回復) Z1

11176

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの文化についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス文化に関心をもつとともに、フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ フランス人とヴァカンス(夏のヴァカンス)	キーワード 主語人称代名詞、形容詞、不定冠詞、定冠詞、avoir, etre
第2回	テーマ フランスの学校(初等・中等教育)	キーワード 否定文、所有形容詞、指示形容詞
第3回	テーマ フランス人とスポーツ(サッカー)	キーワード 疑問代名詞
第4回	テーマ フランスの歴史(フランス革命)	キーワード 疑問形容詞、非人称動詞
第5回	テーマ フランスのモード(王侯貴族)	キーワード 部分冠詞、数量の表現 prendre, manger, boire
第6回	テーマ パリの観光(セーヌ右岸)	キーワード 中性代名詞 vouloir, pouvoir
第7回	テーマ パリの美術館(ルーヴル美術館)	キーワード 比較級、最上級
第8回	総括講義と試験(1)	
第9回	テーマ フランスの料理(家庭料理)	キーワード 補語人称代名詞 connaitre, savoir,
第10回	テーマ フランス国内旅行(ブルターニュ地方)	キーワード 代名動詞
第11回	テーマ フランスの地方(ノルマンディー地方)	キーワード 関係代名詞(qui que où)、指示代名詞
第12回	テーマ フランス人とカフェ(パリ)	キーワード 複合過去形
第13回	テーマ フランス映画(ヌーヴェル・ヴァーグ)	キーワード 半過去形
第14回	テーマ フランス文学(19世紀)	キーワード 単純未来形
第15回	総括講義と試験(2)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

フランス語と文化Ⅱ(単位回復) Z1

11191

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの文化についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス文化に関心をもつとともに、フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ フランス国内旅行(アルプス地方)	キーワード あいさつ、主語人称代名詞、形容詞、etre
第2回	テーマ フランスの地方(プロヴァンス地方)	キーワード 不定冠詞、定冠詞、数字、avoir
第3回	テーマ フランス人とカフェ(地方)	キーワード er動詞、否定文
第4回	テーマ フランス映画(ネオ・ヌーヴェル・ヴァーグ)	キーワード 所有形容詞、指示形容詞
第5回	テーマ フランス文学(20世紀)	キーワード 近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約 aller, venir
第6回	テーマ フランスの料理(高級料理)	キーワード 疑問文の作り方、疑問代名詞
第7回	テーマ パリの観光(セーヌ左岸)	キーワード 疑問形容詞、非人称動詞
第8回	総括講義と試験(1)	
第9回	テーマ パリの美術館(オルセー美術館)	キーワード 部分冠詞、数量の表現 prendre, manger, boire
第10回	テーマ フランスのモード(オートクチュール)	キーワード 中性代名詞 vouloir, pouvoir
第11回	テーマ フランスの歴史(20世紀)	キーワード 比較級、最上級
第12回	テーマ フランス人とスポーツ(格闘技)	キーワード 補語人称代名詞 connaitre, savoir
第13回	テーマ フランスの学校(高等教育)	キーワード 代名動詞
第14回	テーマ フランス人とヴァカンス(冬のヴァカンス)	キーワード 複合過去形
第15回	総括講義と試験(2)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。

<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本スペイン語(単位回復) A

11168

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な文法事項の演習とスペイン・スペイン語圏の国々の文化に関する講義の形式で進める。

到達目標 / Attainment Objectives

- ① 基本文法の習得
- ② スペイン・スペイン語圏の国々に関する基礎知識を身につけること

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	発音・アクセント	
	名詞・形容詞	
	動詞(I ~ X)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	小テスト、授業への積極的な参加
出席率と授業への積極的な参加状況を最重視する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

随時プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業中に紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本スペイン語(単位回復) B

11186

担当者名 / Instructor 寺本 あけみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な文法事項の演習とスペイン・スペイン語圏の国々の文化に関する講義の形式で進める。

到達目標 / Attainment Objectives

- ① 基本文法の習得
- ② スペイン・スペイン語圏の国々に関する基礎知識を身につけること

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	発音・アクセント	
	名詞・形容詞	
	動詞(I ～ X)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	小テスト、授業への積極的な参加
出席率と授業への積極的な参加状況を最重視する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

随時プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業中に紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本ドイツ語(単位回復) A

11149

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

初級ドイツ語1の単位を回復するためのクラスです。ドイツ語の発音、人称代名詞、動詞の現在形、名詞の格変化、前置詞、話法の助動詞、そして複合動詞を中心に授業を進めていきます。授業ではまず文法事項の説明をやり、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎ドイツ語の習得を目指し、ドイツ語検定試験4級に合格できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価等の説明。プリントの配布。
第2回目	ドイツ語の発音	アルファベットとウムラウトの読み方の練習。単母音と二重母音の発音練習。
第3回目	ドイツ語の発音。人称代名詞。	子音の発音練習。人称代名詞の説明。
第4回目	動詞の現在人称変化1(規則動詞)。	規則動詞の変化の説明と練習。
第5回目	動詞の現在人称変化2(規則動詞)。不規則動詞sein, haben, werdenの人称変化。	規則動詞2とsein, haben, werdenの練習。
第6回目	第1回目から第6回目までの確認テスト(40分)と解説(30分)。名詞に関する説明。	名詞の性と格について大まかな説明。
第7回目	名詞(1格)と(4格)。	名詞の1格と4格、人称代名詞1格と4格の説明と練習。
第8回目	名詞(4格)。	名詞と人称代名詞の4格の練習。
第9回目	名詞の(2格)と(3格)。	名詞の2格と3格、人称代名詞3格の説明と練習。
第10回目	第7回目から第9回目までの確認テスト(40分)と解説(30分)。動詞の現在人称変化3(不規則動詞)	不規則動詞の説明。
第11回目	動詞の現在人称変化3(不規則動詞)	不規則動詞の練習。
第12回目	複合動詞。	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
第13回目	前置詞。話法の助動詞。	前置詞の格支配の説明と練習。話法の助動詞の説明と練習。
第14回目	最終検証テスト(60分)と解説(30分)	
第15回目	最終検証テストの講評、各文法事項の復習。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題のプリントを配布するので、必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった場合は、次回の授業で受け取るように。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	授業期間中に学修到達度を最終的に確認する検証テスト(第14回目)を実施する。最低限、6割以上を目指すこと。
平常点(日常的)	40 %	第6回頃と第10回頃の授業で、それまでの授業内容に対する確認テストを行い、その結果と授業に対する取組状況を総合的に見る。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業内で毎回、数多くの練習問題を行うので、なるべくその場で文法事項の理解と習得を目指すように。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本ドイツ語(単位回復) B

11160

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

初級ドイツ語1の単位を回復するためのクラスです。ドイツ語の発音、人称代名詞、動詞の現在形、名詞の格変化、前置詞、話法の助動詞、そして複合動詞を中心に授業を進めていきます。授業ではまず文法事項の説明をやり、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎ドイツ語の習得を目指し、ドイツ語検定試験4級に合格できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価等の説明。プリントの配布。
第2回目	ドイツ語の発音	アルファベットとウムラウトの読み方の練習。単母音と二重母音の発音練習。
第3回目	ドイツ語の発音。人称代名詞。	子音の発音練習。人称代名詞の説明。
第4回目	動詞の現在人称変化1(規則動詞)。	規則動詞の変化の説明と練習。
第5回目	動詞の現在人称変化2(規則動詞)。不規則動詞sein, haben, werdenの人称変化。	規則動詞2とsein, haben, werdenの練習。
第6回目	第1回目から第6回目までの確認テスト(40分)と解説(30分)。名詞に関する説明。	名詞の性と格について大まかな説明。
第7回目	名詞(1格)と(4格)。	名詞の1格と4格、人称代名詞1格と4格の説明と練習。
第8回目	名詞(4格)。	名詞と人称代名詞の4格の練習。
第9回目	名詞の(2格)と(3格)。	名詞の2格と3格、人称代名詞3格の説明と練習。
第10回目	第7回目から第9回目までの確認テスト(40分)と解説(30分)。動詞の現在人称変化3(不規則動詞)	不規則動詞の説明。
第11回目	動詞の現在人称変化3(不規則動詞)。	不規則動詞の練習。
第12回目	複合動詞。	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
第13回目	前置詞。話法の助動詞。	前置詞の格支配の説明と練習。話法の助動詞の説明と練習。
第14回目	最終検証テスト(60分)と解説(30分)。	
第15回目	最終検証テストの講評、各文法事項の復習。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

毎回、練習問題のプリントを配布するので、必ず受け取るように。欠席等で受け取れなかった場合は、次回の授業で受け取るように。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	60 %	授業期間中に学修到達度を最終的に確認する検証テスト(第14回目)を実施する。最低限、6割以上を目指すこと。
平常点(日常的)	40 %	第6回頃と第10回頃の授業で、それまでの授業内容に対する確認テストを行い、その結果と授業に対する取組状況を総合的に見る。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

業内で毎回、数多くの練習問題を行うので、なるべくその場で文法事項の理解と習得を目指すように。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本フランス語(単位回復) A

11150

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ 主語人称代名詞、形容詞、不定冠詞、定冠詞、avoir, etre	
第2回	テーマ 否定文、所有形容詞、指示形容詞	
第3回	テーマ 疑問代名詞	
第4回	テーマ 疑問形容詞、非人称動詞	
第5回	テーマ 部分冠詞、数量の表現 prendre, manger, boire	
第6回	テーマ 中性代名詞 vouloir, pouvoir	
第7回	テーマ 比較級、最上級	
第8回	前半講義の総括及び小テスト	
第9回	テーマ 補語人称代名詞 connaitre, savoir,	
第10回	テーマ 代名動詞	
第11回	テーマ 関係代名詞(qui que où)、指示代名詞	
第12回	テーマ 複合過去形	
第13回	テーマ 半過去形	
第14回	テーマ 単純未来形	
第15回	後半講義の総括及び小テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本フランス語(単位回復) B

11161

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習問題を行ない(1時間程度)、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ あいさつ、主語人称代名詞、形容詞、etre	
第2回	テーマ 不定冠詞、定冠詞、数字、avoir	
第3回	テーマ er動詞、否定文	
第4回	テーマ 所有形容詞、指示形容詞	
第5回	テーマ 近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約 aller, venir	
第6回	テーマ 疑問文の作り方、疑問代名詞	
第7回	テーマ 疑問形容詞、非人称動詞	
第8回	前半講義の総括及び小テスト	
第9回	テーマ 部分冠詞、数量の表現 prendre, manger, boire	
第10回	テーマ 中性代名詞 vouloir, pouvoir	
第11回	テーマ 比較級、最上級	
第12回	テーマ 補語人称代名詞 connaitre, savoir	
第13回	テーマ 代名動詞	
第14回	テーマ 複合過去形	
第15回	後半講義の総括及び小テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。260点満点のうち6割の156点以上とること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。下記のサイトに講義内容をアップしているので、欠席した回の内容はこれを使って各自学習しておくこと。
<http://www.osk.3web.ne.jp/~nityshr/ritsume/index.htm>

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本中国語(単位回復) A

11813

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語の初級レベルを指定したテキストにそって学習していく。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語の読む、聞く、話す、書くの力を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	自己紹介、授業の進め方の説明。	
2	第一課:発音(1)、第二課:発音(2)	
3	第二課:発音(2)、第三課:発音(3)	
4	第四課:本文、ポイント	
5	第四課:会話、練習問題	
6	第五課:本文、ポイント	
7	第五課:会話、練習問題	
8	第六課:本文、ポイント	
9	第六課:会話、練習問題	
10	第七課:本文、ポイント	
11	第七課:会話、練習問題	
12	第八課:本文、ポイント、会話	
13	第八課:練習問題 第九課:本文、ポイント	
14	第九課:会話、練習問題	
15	前期試験およびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	
授業では、毎回単語あるいは朗読・暗誦のテストを実施する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語初級テキスト スタンダード実用中国語	高橋弥守彦、関華、三上強／郁文堂／ISBN978-4-261-01841-7／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書	相原茂ほか／同学社／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本中国語(単位回復) B

11820

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語の初級レベルを指定したテキストにそって学習していく。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語の読む、聞く、話す、書くの力を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期復習 第十課:本文、ポイント	
2	第十課:会話、練習問題	
3	第十一課:本文、ポイント	
4	第十一課:会話、練習問題	
5	第十二課:本文、ポイント	
6	第十二課:会話、練習問題	
7	第十三課:本文、ポイント	
8	第十三課:会話、練習問題	
9	第十四課:本文、ポイント	
10	第十四課:会話、練習問題	
11	第十五課:本文、ポイント	
12	第十五課:会話、練習問題	
13	第十六課:本文、ポイント	
14	第十六課:会話、練習問題	
15	後期試験およびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	
平常点(日常的)	60 %	
授業では、毎回単語あるいは朗読・暗誦のテストを実施する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語初級テキスト スタンダード実用中国語	高橋弥守彦、関華、三上強 / 郁文堂 / ISBN978-4-261-01841-7 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書	相原茂ほか / 同学社 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復) A

11814

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指し、朝鮮語運用能力の基礎的な部分を習得する。
母音・子音の修得と発音の練習に始まり、挨拶の言葉、ハングルの短文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級に合格できる朝鮮語運用能力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	実力テスト
2-3	文字と発音	母音・子音・パッチム・連音
4-5	指定詞・存在詞を使った平叙文・否定文	私は～です／ではありません。～があります／ありません。
6	位置を表す言葉、疑問詞、助詞のまとめ	冷蔵庫の中に牛乳があります。これは何ですか？
7	復習・小テスト	
8	固有数詞と漢数詞	「ひとつ」と「一」
9-11	動詞・形容詞を使った平叙文、うちとけた「です・ます」形	私は～します。うれしいです。
12	動詞・形容詞を使った否定文	今日は行きません。
13	丁寧形	
14	まとめと復習	
15	検証テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	授業中に行う小テスト、復習テスト、最終講義日の検証テストを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復) B

11821

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指す。
 実際に検定問題を解きながら朝鮮語運用能力の基礎的な部分を確認していく。
 発音、挨拶の言葉、短文の読解、作文、聞き取りができるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級に合格できる朝鮮語運用能力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の進行形式を説明。実力テスト
2-13	ハングル検定試験問題の実施と講評、解説	
14	まとめと復習	
15	検証テストと解説	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	授業中に実施するテストおよび最終講義日の検証テストを総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 /

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と社会I(単位回復) Z1

11151

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

発音や基本的な文法、使える文型など、中国語の基礎的な技術を習得しながら、中国の文化に触れる。
あわせて、中国の社会・文化に関する基本的な知見を獲得し、何か一つ、中国語でできることを作ることを目的とする。ことわざが言える、歌が歌える、詩が朗唱できる、など。

到達目標 / Attainment Objectives

まず、中国語の発音を習得し、ピンインを見れば発音ができるようにする。
次に、簡単な文型と文法の基礎を学びつつ、学んだ単語を用いて自在に表現ができるようになるまで慣れる。
中国語でできること、特技(歌・ことわざ、詩が言える)をつくる。
文化と社会の基本的な知見を得る。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1. 2	発音の基礎を学び、あいさつや数字など、基本的な単語を学ぶ。	
3,	教科書スキット1、文法の基礎、文型基礎学びつつ、中国って？現代中国のなりたち、政治・社会について解説する。	
4,	スキット2、および中国と日本文化 日本まんが、アニメの中国における受容を紹介しつつ、現代の日本と中国について考察する。	
5,	スキット3、および中国の社会にいまも影響をおよぼす、家族のつながりについて説明	
6,	スキット4、中国語の歌を紹介する。実際に歌を歌ってみる	
7,	スキット5、中国語で年齢を聞いてみよう、また中国の暦を紹介する。	
8,	スキット6、中国語早口言葉、なぞなぞ	
9,	スキット7、漢詩、故事成語を読んでみよう、覚えてみよう。	
10,	スキット8、中国のドラマ・映画を見てみる、せりふを覚えてみる	
11,	スキット9、中国のドラマ・映画を見てみる、せりふを覚えてみる	
12,	スキット10、日本でも有名な中国の説話、読んでみよう	
13,	スキット11、日本でも有名な中国の説話、読んでみよう	
14,	特技(詩朗唱、説話暗唱、歌唱、ことわざ暗唱など)総点検 一人一人に発表してもらう	
15,	文法文型まとめと、検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	40 %	文法・文型理解を問う。
平常点(日常的)	60 %	うち40%は特技試験 のこり20%は授業中の態度。 出席点はとくに考慮しない。

三分の二以上の出席が、単位取得の条件です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
はじめての中国語・すくすく	監修 遠藤光暁／朝日出版社／4-255-45130-3／

教科書は必須。必ず購入すること。

参考書 / Reference Books

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

中国語はじめの一步

木村英樹／筑摩書房／4480056661／

中国語入門Q&A101

相原茂ほか／大修館書店／4-469-23225-4／

参考書など随時紹介しますが、興味のあるかたは読んでみてください。

特技関連の資料は、随時レジュメを配布します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と社会Ⅱ(単位回復) Z1

11162

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の基礎を学び、はなすこと、聞くことに慣れる。さらに、現在の中国に関する基本的な認識を得る。

到達目標 / Attainment Objectives

発音を復習し、ピンインを見て相手に通じる発音ができるようになる。
文型と文法の基礎を習得し、それを用いて聞く・はなすことに慣れる。
中国の文化と社会の基本的な成り立ちについて認識する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業方法に関する相談、発音練習	四声、ピンイン
2	発音練習	ピンイン 鼻音 あいさつの基本
3	テキスト第1課 文法と文型を学び、会話練習をする。あわせて中国に於ける人の名前について学ぶ。	
4	テキスト第2課 文法と文型を学び、会話練習。現在の中国の成立過程について、著名な人物を紹介しながら考察。	
5	テキスト第3課 文法と文型を学び、会話練習。中国における日本文化受容について。	
6	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。中国の住居と家属について。	
7	テキスト第4課 文法と文型を学び、会話練習。再び脚光をあびる中国の古典。	
8	テキスト第5課 文法と文型を学び、会話練習。年齢の聴き方、干支とうらない。	
9	テキスト第6課 文法と文型を学び、会話練習。中国の学制と学制	
10	テキスト第7課 文法と文型を学び、会話練習。中国の交通状況	
11	テキスト第8課 文法と文型を学び、会話練習。中国の職業。	
12	テキスト第8課 文法と文型を学び、会話練習。中国における寵物(ペット)。	
13	テキスト第9課 文法と文型を学び、会話練習。中国の観光。	
14	文法・文型のまとめ。	
15	文法・文型のまとめ。総点検。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(検証テスト)	50 %	
平常点(日常的)	50 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
【北京上海リスニングツアー】	相原茂／朝日出版社／4-255-45030-7／必携です。

教科書は必ず購入してください。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と文化I(単位回復) Z1

12292

担当者名 / Instructor 鈴木 常勝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の発音、基本文型、入門会話を理解すると共に、中国文化、現代の日中関係史の基礎知識を得ることを目的とする。

到達目標 / Attainment Objectives

授業の概要に同じ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国文化と日本文化	
2	中国語の発音	
3、	中国語の基本文型	
4、	中国語会話の試み1	
5、	中国語会話の試み2	
6	中国語会話の試み3	
7	中国人留学生との会話実践	
8	日中現代史1	
9	日中現代史2	
10	日中現代史3	
11	日中現代史4	
12	日本人のアジア認識1	
13	日本人のアジア認識2	
14	戦後世代と戦争責任	
15	異文化衝突と発想の転換	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	60 %	
平常点(日常的)	40 %	
出席重視。毎回授業内容の感想文を書く。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

初回に自主教材を配布する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
大路(タールー)	鈴木常勝／新泉社／4-7877-9406-x c1036／日中戦争下の上海映画史
上海コロッケ横丁	鈴木常勝／新泉社／4-7877-9018-8 c1036／上海の夕刊紙に見る庶民の哀歓

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

中国語と文化Ⅱ(単位回復) Z1

12298

担当者名 / Instructor 鈴木 常勝

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の発音、基本文型、入門会話を理解すると共に、近現代の中国の歴史と家族関係の知識を得ることを目的とする。

到達目標 / Attainment Objectives

授業の概要に同じ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国文化と日本文化	
2	中国語の発音	
3	中国語の基本文型	
4	中国語会話の試み1	
5	中国語会話の試み2	
6	中国語会話の試み3	
7	中国人留学生との会話実践	
8	中国の家族1ー母と子	
9	中国の家族2ー父と息子	
10	中国の家族3ー母と娘	
11	中国の家族4ーアメリカでの中国人親子	
12	中国の家族5ー上海の一人っ子	
13	中国の家族6ー社会「進化」と家族関係	
14	上海の少女たちー絶望と希望のはざま	
15	中国人気質と日本人気質	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
レポート試験	60 %	
平常点(日常的)	40 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント配布

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
大路 朝鮮人の上海電影皇帝	鈴木常勝／新泉社／／
上海コロッセ横丁	鈴木常勝／新泉社／4-7877-9018-8 8c1036 / 上海の夕刊紙に見る庶民の哀歓

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と社会I(単位回復) Z1

12291

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

朝鮮語の基礎的な習得と、朝鮮の歴史と社会・文化の学習を通して異文化理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要、授業の到達目標、進め方、成績評価方法	簡単な挨拶 I
第2回目	春の礼節食、端午の風俗	簡単な挨拶 II
第3回目	夏・三伏の風俗と節食	日常会話 I
第4回目	秋・秋夕の風俗と節食	日常会話 II
第5回目	冬・旧正月、冬至の節食	日常会話 III
第6回目	韓国の飲食文化	日常会話 IV
第7回目	小テスト(簡単な挨拶及び日常会話)	これまでのまとめ
第8回目	朝鮮の歴史・文化 I	朝鮮民謡
第9回目	朝鮮の歴史・文化 II	丁寧形(ハムニダ体)現在、助詞
第10回目	朝鮮の歴史・文化 III	丁寧形(ヘヨ体)現在、変則用言
第11回目	朝鮮の歴史・文化 IV	過去形、語尾<1>
第12回目	韓国の現代社会 I	漢数詞、固有数詞
第13回目	韓国の現代社会 II	不可能、語尾<2>
第14回目	韓国の現代社会 III	疑問詞、助詞
第15回目	前期末テスト	簡単な日本文の翻訳、聞き取り、まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	最終講義日試験(授業での積極的な取り組み・小テストなどを含む)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解	文京株／新幹社／／
はじめての韓国語	松井聖一郎／三修社／978-4-384-05461-3／
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉／新幹社／4-88400-055-2／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と社会Ⅱ(単位回復) Z1

12297

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

朝鮮語の基礎的な習得と、朝鮮の歴史と社会・文化の学習を通して異文化理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な朝鮮語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要、授業の到達目標、進め方、成績評価方法	簡単な挨拶 I
第2回目	春の礼節食、端午の風俗	簡単な挨拶 II
第3回目	夏・三伏の風俗と節食	日常会話 I
第4回目	秋・秋夕の風俗と節食	日常会話 II
第5回目	冬・旧正月、冬至の節食	日常会話 III
第6回目	朝鮮の民族及び祝祭	日常会話 IV
第7回目	小テスト(簡単な挨拶及び日常会話)	これまでのまとめ
第8回目	朝鮮の歴史・文化 I	朝鮮民謡
第9回目	朝鮮の歴史・文化 II	新聞記事に見る現代韓国(1)
第10回目	朝鮮の歴史・文化 III	新聞記事に見る現代韓国(2)
第11回目	朝鮮の歴史・文化 IV	ドラマに見る現代韓国(1)
第12回目	韓国の現代社会 I	ドラマに見る現代韓国(2)
第13回目	韓国の現代社会 II	食文化に見る現代韓国(1)
第14回目	韓国の現代社会 III	食文化に見る現代韓国(2)
第15回目	後期末テスト	簡単な日本文の翻訳、聞き取り、まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	最終講義日試験(授業での積極的な取り組み・小テストなどを含む)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ハングル教本—基礎から読解	文京洙／新幹社／／
はじめての韓国語	松井聖一郎／三修社／978-4-384-05461-3／
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉／新幹社／4-88400-055-2／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と文化I(単位回復) Z1

11153

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されている。韓国語学習体験のない学生をも対象として、韓国語、韓国文化の理解を目指す。韓国語の基礎的知識を身につけ韓国語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの韓国文化との接触を通して、受講生の韓国理解を深めるものとする。授業前半は韓国語を学習し、授業後半は韓国の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

韓国語と韓国の文化について基礎的知識を身に付けること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、韓国の文化について簡単なクイズ	
2 ~ 4	韓国語の構成	
5 ~ 7	韓国語の発音、読み。簡単な挨拶	
8 ~ 9	韓国の社会 (家族制度、風習、兵隊)	
10 ~ 15	韓国の文化 (音核、映画、踊り、若者の文化)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Methods

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	
* 日常点評価		
成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others

朝鮮語と文化Ⅱ(単位回復) Z1

11164

担当者名 / Instructor 李 雨洲

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されている。韓国語学習体験のない学生をも対象として、韓国語、韓国文化の理解を目指す。韓国語の基礎的知識の把握にくわえ、初歩レベルの韓国語会話練習をとりいれ、韓国語に対する理解を求める。また教材・映像を活用しながらの韓国文化との接触を通して、韓国の理解を深めるものとする。授業前半は韓国語を学習し、授業後半は韓国の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

韓国語と韓国の文化について基礎的知識を身に付けること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、韓国社会について簡単なクイズ	
2 ~ 5	韓国語の基礎	
6 ~ 7	簡単な韓国語の表現、挨拶	
8	韓国の歴史	
9 ~ 13	韓国の文化 (衣・食・住文化)	
14 ~ 15	韓国の社会 (生活習慣、年中行事)	

 (学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Method

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点(日常的)	100 %	
* 日常点評価		
成績評価は合格の場合、原則として「C」、不合格の場合「F」とする		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

その他 / Others